

伊都キャンパスの生活状況等に関する アンケート結果

平成24年10月

九州大学新キャンパス計画専門委員会

福利厚生施設ワーキンググループ

目 次

1. まえがき	5
2. 伊都キャンパスの生活状況等に関する意識調査	6
〈フェイスシート〉	
1. 所属	9
2. 学年	10
3. 性別	10
4. 留学生	10
5. 収入	11
〈通学について〉	
6. 通学方法	12
6-1. 性別とのクロス集計	13
6-2. 留学生とのクロス集計	14
6-3. 現在の住所とのクロス集計	15
7. 通学の際利用している割引券等	16
8. 西鉄バスを利用する場合の主なバス停と乗車時間帯	17
9. 昭和バスを利用する場合の主なバス停と乗車時間帯	19
10. 通学時間（片道）	20
10-1. 現在の住所とのクロス集計	21
11. 利便性をさらに向上させるために必要なもの・希望	22
〈住居について〉	
12. 現在の住所	23
12-1. 学年とのクロス集計	24
13. 現在の住居形態	25
13-1. 性別とのクロス集計	25
13-2. 現在の住所とのクロス集計	26
14. 居住地選択の際の重視事項	27
15. 居住地周辺に必要な施設	28
16. 居住地の周辺環境の満足度	29
17. 周辺環境に満足している理由	30
18. 周辺環境に不満な理由	31
19. 住居の部屋代	32
19-1. 留学生とのクロス集計	33
19-2. 現在の住所とのクロス集計	34

19-3. 現在の住居形態とのクロス集計	35
20. 現在の住居を探した理由	36
21. 伊都キャンパス移転に伴う転居について	37
22. 転居時期	38
23. 転居エリア	39
24. 希望の住居形態	40
25. ルームシェアタイプの住居	41
26. 転居の際の重視事項	42
27. 転居しない理由	43
28. 民間賃貸物件の検討	44
29. 転居希望エリア	45
30. 転居希望エリアの理由	46
〈学生寄宿舍について〉	
31. ドミトリーへの入居申請の有無	47
31-1. 学年とのクロス集計	48
31-2. 性別とのクロス集計	49
31-3. 留学生とのクロス集計	49
31-4. 現在の住居形態とのクロス集計	50
31-5. 住居の部屋代とのクロス集計	51
31-6. 入居希望者とのクロス集計	52
32. 入居を申請した理由	53
33. 入居を申請しなかった理由	54
〈キャンパスでの生活について〉	
34. 伊都キャンパス以外での授業を受けているキャンパス	55
35. 伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法	56
36. 自動車入構の有料化に伴う生活への影響	57
36-1. 学年とのクロス集計	58
37. 伊都キャンパスでの昼食	59
37-1. 性別とのクロス集計	60
37-2. 留学生とのクロス集計	60
37-3. 学年とのクロス集計	61
38. 伊都キャンパスでの夕食	62
39. 食事の価格について	63
40. 伊都キャンパスでの生活の満足度	64
40-1. 性別とのクロス集計	65
40-2. 留学生とのクロス集計	65

40-3. 学年とのクロス集計	66
41. 伊都キャンパスの運動空間	67
42. 伊都キャンパスに必要な運動空間	68
43. 伊都キャンパスの休息空間	69
44. 伊都キャンパスに必要な休息空間	70
45. 伊都キャンパス周辺に必要な施設	71
46. 伊都キャンパスに移転して良かったこと	72
〈放課後の生活について〉	
47. サークルへの所属	73
47-1. 学年とのクロス集計	74
47-2. 性別とのクロス集計	75
47-3. 留学生とのクロス集計	75
48. 所属サークルの区分	76
49. サークルの活動場所	77
50. サークルの活動施設	78
51. サークルの活動頻度	79
52. アルバイトの有無	80
53. アルバイトの頻度	81
54. アルバイトの種類	82
55. アルバイトの場所	83
56. 主な下校時間	84
〈休日の活動について〉	
57. 休日の外出頻度	85
58. 休日の主な外出先	86
〈自由記述〉	
自由記述	
1. 施設・建物に関して	87
2. キャンパス内の生活支援施設（食堂・売店等）に関して	87
3. 住居（学生寄宿舍・民間賃貸物件）に関して	88
4. 課外活動・アルバイトに関して	88
5. 地元まちづくりへの要望又は地域との連携等に関して	88
6. その他	88

1. まえがき

九州大学は2009年（平成21年）4月に六本松キャンパス、同年10月に数理学府の移転が終了しました。

本アンケートは、移転を終えた学生の新キャンパスライフの状況等を調査するとともに、学生の意向等を把握するために実施したものです。

調査に快く協力して下さった学生の皆さんに感謝するとともに、この結果が、今後の伊都キャンパスへの移転に反映されれば幸いです。

平成24年10月

九州大学新キャンパス計画専門委員会

福利厚生施設ワーキンググループ

伊都キャンパスの生活状況等に関するアンケート調査票

1. 目的等：伊都キャンパスの学生生活支援等の今後の整備充実に向けた活用を目的としています。皆さんの環境をよくするためにも、また、これから入学する後輩のためにも必要なアンケートです。前回までのアンケートの結果は、九州大学のホームページに掲載しています。貴重なデータとして活用されていますので、ご協力をお願いいたします。

【これまでのアンケート結果の活用状況】

- ・ 学生向けアパートの建設促進
- ・ 糸島市コミュニティバスの利用料金値下げ
- ・ センターゾーンに立体駐車場とバイク置場の整備
- ・ センター1号館とセンター2号館の渡り廊下への大屋根設置
- ・ その他、伊都キャンパスの運営、施設整備等

※九州大学ホームページに伊都キャンパスへの交通アクセス、周辺地域の情報などは、掲載していますので、ご覧ください。

URL： <http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

2. 回答方法：ホームページ上で、回答してください。

2. 伊都キャンパスの生活状況等に関する意識調査

●アンケートの概要

◆調査対象

平成 24 年 6 月現在、九州大学の全学教育（教養教育）、理学部（数学科）、工学部、21 世紀プログラム課程、比較社会文化学府、数理学府、工学府、システム情報科学府及び統合新領域学府に在籍する学生を対象とした。

◆調査期間

平成 24 年 6 月 ～ 平成 24 年 7 月

◆調査方法

Web 上での無記名によるアンケート調査

◆回収状況

有効回答数 567 人

◆アンケートの内容

○所属・身分等に関する質問

1. 所属
2. 学年
3. 性別
4. 留学生
5. 収入

○通学に関する質問

6. 通学方法
7. 通学の際利用している割引券等
8. 西鉄バスを利用する場合の主なバス停と乗車時間帯
9. 昭和バスを利用する場合の主なバス停と乗車時間帯
10. 通学時間（片道）
11. 利便性をさらに向上させるために必要なもの・希望

○住居に関する質問

12. 現在の住所
13. 現在の住居形態

- 14. 居住地選択の際の重視事項
- 15. 居住地周辺に必要な施設
- 16. 居住地の周辺環境の満足度
- 17. 周辺環境に満足している理由
- 18. 周辺環境に不満な理由
- 19. 住居の部屋代
- 20. 現在の住居を探した理由
- 21. 伊都キャンパス移転に伴う転居について
- 22. 転居時期
- 23. 転居エリア
- 24. 希望の住居形態
- 25. ルームシェアタイプの住居
- 26. 転居の際の重視事項
- 27. 転居しない理由
- 28. 民間賃貸物件の検討
- 29. 転居希望エリア
- 30. 転居希望エリアの理由

○学生寄宿舍に関する質問

- 31. ドミトリーへの入居申請の有無
- 32. 入居を申請した理由
- 33. 入居を申請しなかった理由

○キャンパスでの生活に関する質問

- 34. 伊都キャンパス以外での授業を受けているキャンパス
- 35. 伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法
- 36. 自動車入構の有料化に伴う生活への影響
- 37. 伊都キャンパスでの昼食
- 38. 伊都キャンパスでの夕食
- 39. 食事の価格について
- 40. 伊都キャンパスでの生活の満足度
- 41. 伊都キャンパスの運動空間
- 42. 伊都キャンパスに必要な運動空間
- 43. 伊都キャンパスの休息空間
- 44. 伊都キャンパスに必要な休息空間
- 45. 伊都キャンパス周辺に必要な施設

46. 伊都キャンパスに移転して良かったこと

○放課後の生活に関する質問

- 47. サークルへの所属
- 48. 所属サークルの区分
- 49. サークルの活動場所
- 50. サークルの活動施設
- 51. サークルの活動頻度
- 52. アルバイトの有無
- 53. アルバイトの頻度
- 54. アルバイトの種類
- 55. アルバイトの場所
- 56. 主な下校時間

○休日の活動に関する質問

- 57. 休日の外出頻度
- 58. 休日の主な外出先

59. 自由記述

※以下、表中の数字単位は、人数を示す。

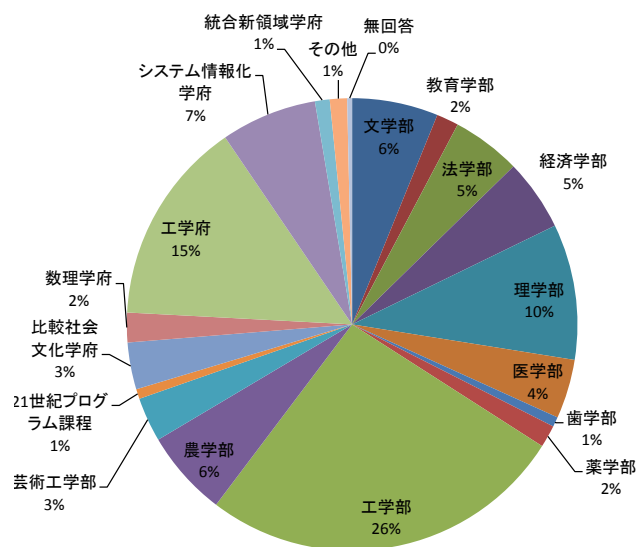
〈フェイスシート〉

1. 所属

『あなたの所属する学部・学府について、該当する項目にチェックをして下さい。』

工学部が 26.3% (149 人) を占め最も多く、次いで工学府が 14.6% (83 人) を占めている。

所属	回答数	構成比
文学部	35	6.2%
教育学部	9	1.6%
法学部	28	4.9%
経済学部	29	5.1%
理学部	55	9.7%
医学部	24	4.2%
歯学部	4	0.7%
薬学部	9	1.6%
工学部	149	26.3%
農学部	35	6.2%
芸術工学部	18	3.2%
21世紀プログラム課程	4	0.7%
比較社会文化学府	19	3.4%
数理学府	12	2.1%
工学府	83	14.6%
システム情報化学府	39	6.9%
統合新領域学府	6	1.1%
その他	7	1.2%
無回答	2	0.4%
計	567	100.0%

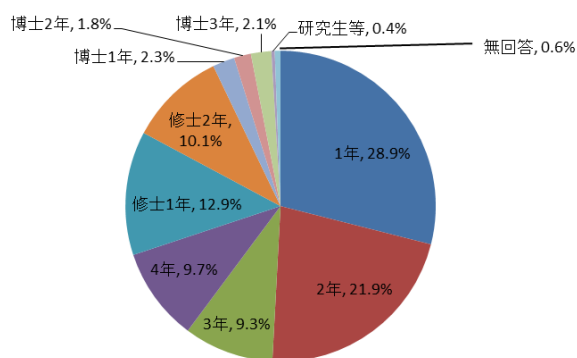


2. 学年

『あなたの学年について、該当する項目にチェックをして下さい。』

学部は1年生が28.9%（164人）で最も多く、学部生は全体の69.8%（369人）を占める。

学年	回答数	構成比
1年	164	28.9%
2年	124	21.9%
3年	53	9.3%
4年	55	9.7%
修士1年	73	12.9%
修士2年	57	10.1%
博士1年	13	2.3%
博士2年	10	1.8%
博士3年	12	2.1%
研究生等	2	0.4%
無回答	4	0.6%
計	567	100.0%

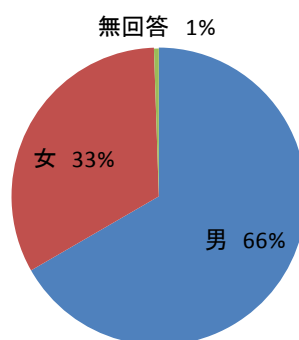


3. 性別

『あなたの性別について、該当する項目にチェックをして下さい。』

男女構成比は男性が66%（378人）、女性が33%（186人）となっている。

性別	回答数	構成比
男	378	66%
女	186	33%
無回答	3	1%
計	567	100%

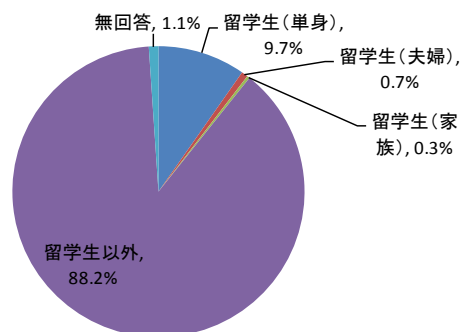


4. 留学生

『あなたは留学生ですか、該当する項目にチェックをして下さい。』

留学生は全体の10.7%（61人）である。

選択項目	回答数	構成比
留学生(単身)	55	9.7%
留学生(夫婦)	4	0.7%
留学生(家族)	2	0.3%
留学生以外	500	88.2%
無回答	6	1.1%
計	567	100.0%

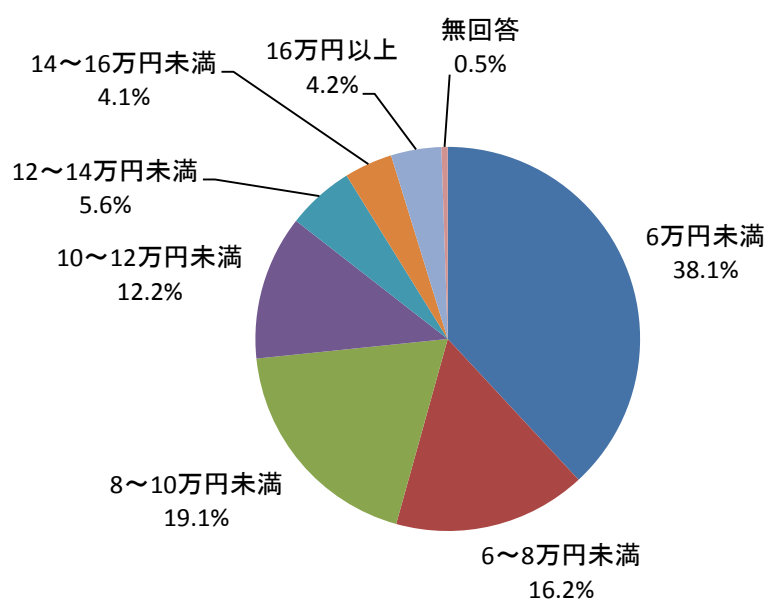


5. 収入

『あなたの一ヶ月の収入（仕送り、アルバイト、奨学金等含む）はいくらですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

6万円未満が38.1%（216人）と最も多く、ついで8～10万円未満が19.1%（108人）である。

収入	回答数	構成比
6万円未満	216	38.1%
6～8万円未満	92	16.2%
8～10万円未満	108	19.1%
10～12万円未満	69	12.2%
12～14万円未満	32	5.6%
14～16万円未満	23	4.1%
16万円以上	24	4.2%
無回答	3	0.5%
計	567	100.0%



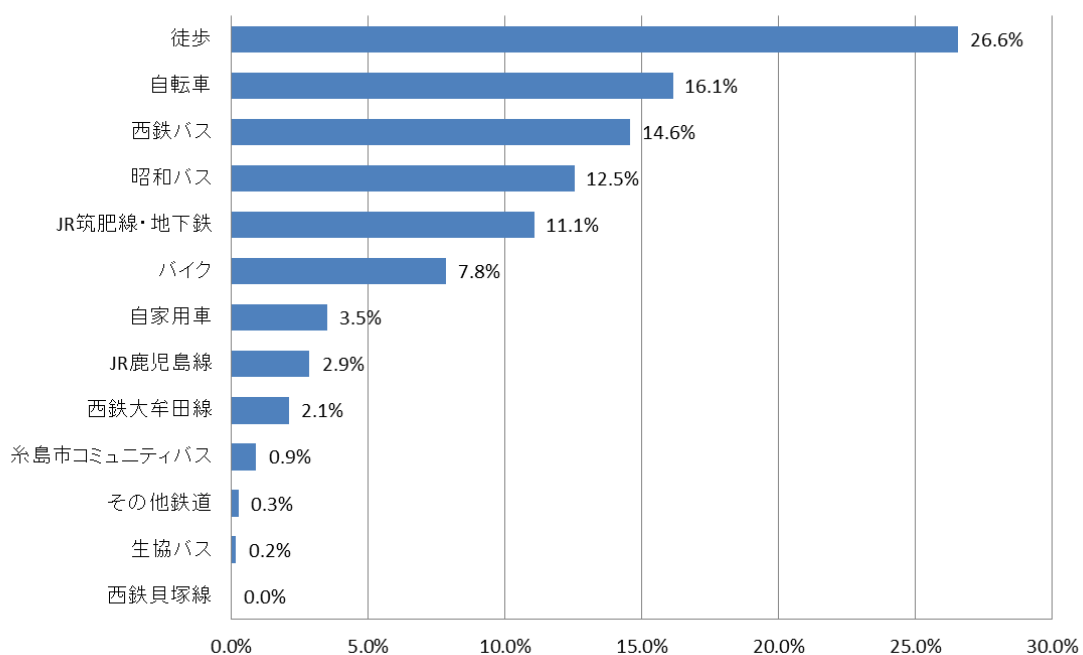
〈通学について〉

6. 自宅から大学までの通学方法（複数回答）

『自宅から大学までの通学方法を記入して下さい。』

通学の手段として、徒歩 26.6%（288 件）、昭和バス 12.5%（136 件）、自転車 16.1%（175 件）、バイク 7.8%（85 件）、西鉄バス 14.6%（158 件）が多い。

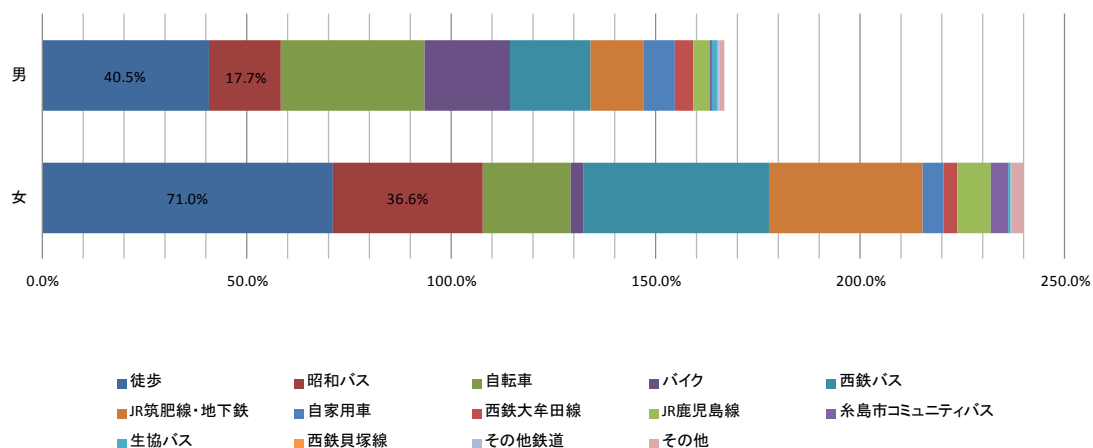
選択肢	回答数	回答者全体 に対する割合
西鉄貝塚線	0	0.0%
生協バス	2	0.4%
その他鉄道	3	0.5%
糸島市コミュニティバス	10	1.8%
西鉄大牟田線	23	4.1%
JR鹿児島線	31	5.5%
自家用車	38	6.7%
バイク	85	15.0%
JR筑肥線・地下鉄	120	21.2%
昭和バス	136	24.0%
西鉄バス	158	27.9%
自転車	175	30.9%
徒歩	288	50.8%
その他	5	0.9%
無回答	10	1.8%



6-1. 性別とのクロス集計

男性は女性よりもバイク、自転車の利用割合が高く、女性は男性よりも公共交通機関（各種鉄道・バス）、徒歩による通学の割合が高い。昨年度の結果と比較すると、男性ではバイク・自家用車の割合が減少し、徒歩・バス・自転車の利用割合が増加している。一方、女性では徒歩、西鉄バスが増加し、昭和バスが減少している。

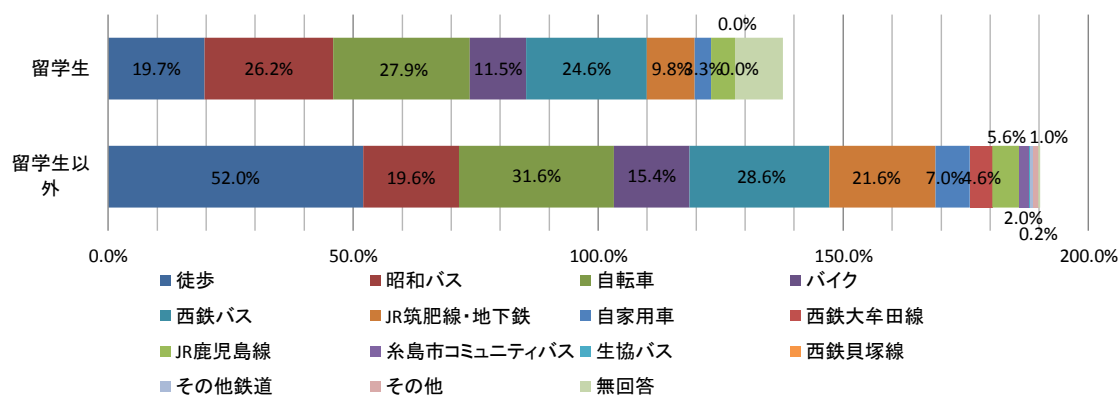
	徒歩	昭和バス	自転車	バイク	西鉄バス	JR筑肥線・地下鉄	自家用車	西鉄大牟田線	JR鹿児島線	糸島市コミュニティバス	生協バス	西鉄貝塚線	その他鉄道	その他	無回答	計
男 (378)	153 40.5%	67 17.7%	133 35.2%	79 20.9%	74 19.6%	50 13.2%	28 7.4%	17 4.5%	16 4.2%	2 0.5%	5 1.3%	0 0.0%	2 0.5%	5 1.3%	3 0.8%	634 167.7%
女 (186)	132 71.0%	68 36.6%	40 21.5%	6 3.2%	84 45.2%	70 37.6%	10 5.4%	6 3.2%	15 8.1%	8 4.3%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	5 2.7%	446 239.8%
無回答 (3)	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	5 125.0%
計 (567)	285	135	174	85	158	122	38	23	31	10	6	0	3	5	10	1085



6-2. 留学生とのクロス集計

留学生の方が、昭和バスをよく利用している。昨年度の結果と比較すると、留学生では、徒歩、自転車の割合が減少している。

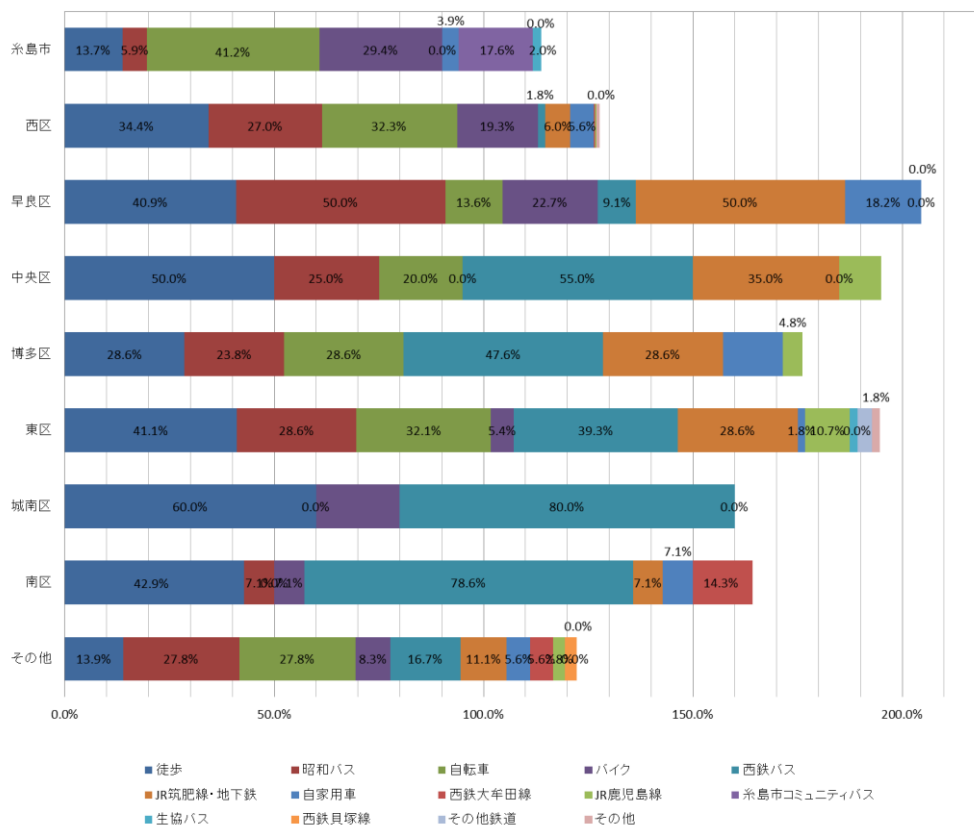
	徒歩	昭和バス	自転車	バイク	西鉄バス	JR筑肥線 地下鉄	自家用車	西鉄大牟田線	JR鹿児島線	糸島市 コミュニティバス	生協バス	西鉄貝塚線	その他鉄道	その他	無回答	計
留学生 (61)	12 19.7%	16 26.2%	17 27.9%	7 11.5%	15 24.6%	6 9.8%	2 3.3%	0 0.0%	3 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 9.8%	84 137.7%
留学生以 外(500)	260 52.0%	98 19.6%	158 31.6%	77 15.4%	143 28.6%	108 21.6%	35 7.0%	23 4.6%	28 5.6%	10 2.0%	1 0.2%	0 0.0%	3 0.6%	5 1.0%	2 0.4%	951 190.2%
無回答(6)	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	7 116.7%
計 (567)	273	117	175	85	158	114	37	23	31	10	1	0	3	5	10	1042



6-3. 現在の住所とのクロス集計

居住地別の交通手段に着目すると、糸島市の学生は自転車 41.2%、バイク 29.4%、西区の学生は徒歩 34.4%、昭和バス 27.0%、自転車 32.3%、バイク 19.3%の利用割合が高い。

	徒歩	昭和バス	自転車	バイク	西鉄バス	JR筑肥線 地下鉄	自家用車	西鉄大牟田線	JR鹿児島線	糸島市 コミュニティバス	生協バス	西鉄貝塚線	その他鉄道	その他	無回答	計
糸島市 (51)	7 13.7%	3 5.9%	21 41.2%	15 29.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	9 17.6%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	58 113.7%
西区 (285)	98 34.4%	77 27.0%	92 32.3%	55 19.3%	5 1.8%	17 6.0%	16 5.6%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	364 127.7%
早良区 (22)	9 40.9%	11 50.0%	3 13.6%	5 22.7%	2 9.1%	11 50.0%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	45 204.5%
中央区 (20)	10 50.0%	5 25.0%	4 20.0%	0 0.0%	11 55.0%	7 35.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	39 195.0%
博多区 (21)	6 28.6%	5 23.8%	6 28.6%	0 0.0%	10 47.6%	6 28.6%	3 14.3%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
東区 (56)	23 41.1%	16 28.6%	18 32.1%	3 5.4%	22 39.3%	16 28.6%	1 1.8%	0 0.0%	6 10.7%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.6%	1 1.8%	0 0.0%	109 194.6%
城南区 (5)	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 160.0%
南区 (14)	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	11 78.6%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 164.3%
その他 (58)	24 41.4%	10 17.2%	14 24.1%	2 3.4%	40 69.0%	11 19.0%	9 15.5%	19 32.8%	20 34.5%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.4%	0 0.0%	153 263.8%
無回答 (36)	5 13.9%	10 27.8%	10 27.8%	3 8.3%	6 16.7%	4 11.1%	2 5.6%	2 5.6%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	44 122.2%
計 (383)	186	128	158	82	105	69	36	22	30	10	2	0	3	5	0	820

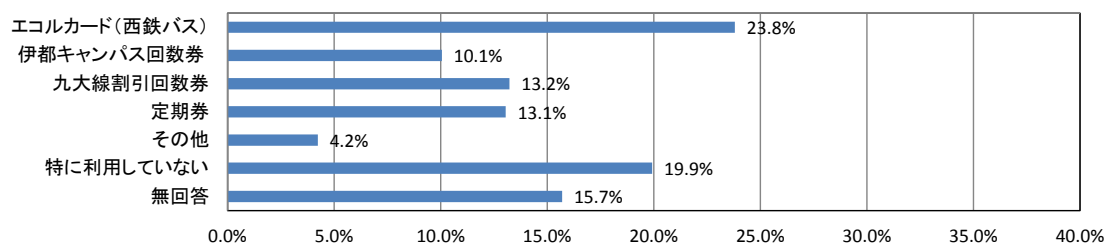


7. 通学の際利用している割引券等(複数回答)

『伊都キャンパスへの通学の際に利用している割引券等がありますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

エコルカードの利用割合は 23.8% (135 人) と高く、昨年度と比較して増加傾向にある。特に何も利用していない人の割合は昨年度に比べて約 20%減少し、公共交通利用が増加している。

選択肢	回答数	回答者全体に対する割合	各交通機関の通学時利用者に対する割合
エコルカード(西鉄バス)	135	23.8%	西鉄バス利用者(158人)に対する割合 85.4%
伊都キャンパス回数券 (地下鉄・JR筑肥線、昭和バ	57	10.1%	地下鉄・JR筑肥線、昭和バス利用者 (256人) に対する割合 22.3%
九大線割引回数券	74	13.1%	昭和バス利用者(136人)に対する割合 54.4%
定期券	75	13.2%	鉄道利用者(177人)に対する割合 42.4%
その他	24	4.2%	—
特に利用していない	113	19.9%	—
無回答	89	15.7%	—



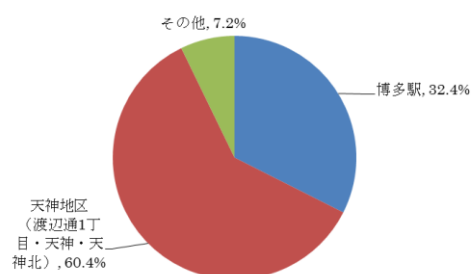
8. 西鉄バスを利用する場合の主なバス停（問6で「西鉄バス」を選択した方のみ）

『問6の通学手段で『西鉄バス』を選択した方にお尋ねします。西鉄バス（博多駅～天神～九大工学部前）を利用する場合の主なバス停・時間帯等について、該当する項目にチェックをして下さい。』

① 伊都キャンパスへの乗車バス停

天神地区が最も多く、60.4%（67人）であり、博多駅は32.4%（36人）であった。博多駅からの利用者は32%（36人）であり、遠方からの通学者も少なくないと思われる。

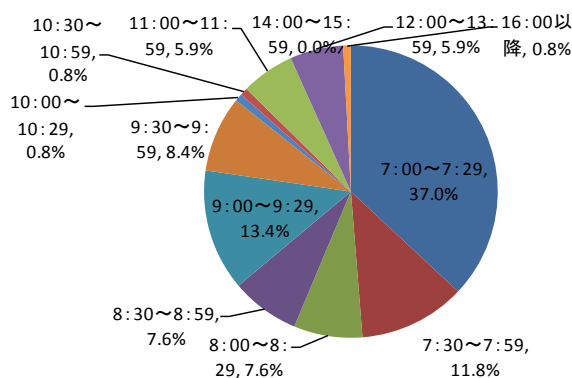
選択肢	回答数	回答者(111人)に対する割合
博多駅	36	32.4%
天神地区 (渡辺通1丁目・天神・天神北)	67	60.4%
その他	8	7.2%



② 伊都キャンパスへの乗車時間帯

伊都キャンパスへの乗車時間帯は、7:00～7:29の時間帯が最も多く、次に9:00～9:29の時間帯が多い。

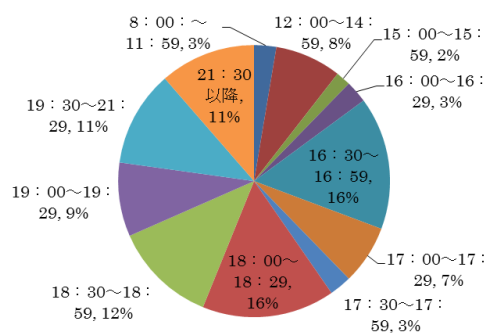
選択肢	回答数	回答者(119人)に対する割合
7:00～7:29	44	37.0%
7:30～7:59	14	11.8%
8:00～8:29	9	7.6%
8:30～8:59	9	7.6%
9:00～9:29	16	13.4%
9:30～9:59	10	8.4%
10:00～10:29	1	0.8%
10:30～10:59	1	0.8%
11:00～11:59	7	5.9%
12:00～13:59	7	5.9%
14:00～15:59	0	0.0%
16:00以降	1	0.8%



② 伊都キャンパスからの乗車時間帯

伊都キャンパスからの乗車時間帯は「16：30～16：59」と「18：00～18：29」の時間帯の回答数が18人で最も多かった。また、「21：30以降」の回答数も13人で、夜に大学から帰る数も少なくない。

選択肢	回答数	回答者(114人)に対する割合
8:00:～11:59	3	3%
12:00～14:59	9	8%
15:00～15:59	2	2%
16:00～16:29	3	3%
16:30～16:59	18	16%
17:00～17:29	8	7%
17:30～17:59	3	3%
18:00～18:29	18	16%
18:30～18:59	14	12%
19:00～19:29	10	9%
19:30～21:29	13	11%
21:30以降	13	11%



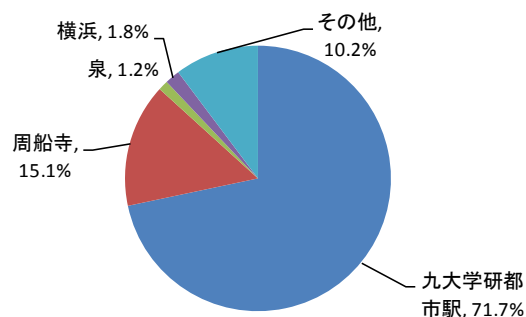
9. 昭和バスを利用する場合の主なバス停（問6で「昭和バス」を選択した方のみ）

①伊都キャンパスへの乗車バス停

『問6の通学手段で『昭和バス』を選択した方にお尋ねします。昭和バス（九大学研都市駅～九大工学部前）を利用する場合の主なバス停・時間帯等について、該当する項目にチェックをして下さい。』

九大学研都市駅が71.7%（119人）で最も多く、ついで周船寺が15.1%（25人）である。

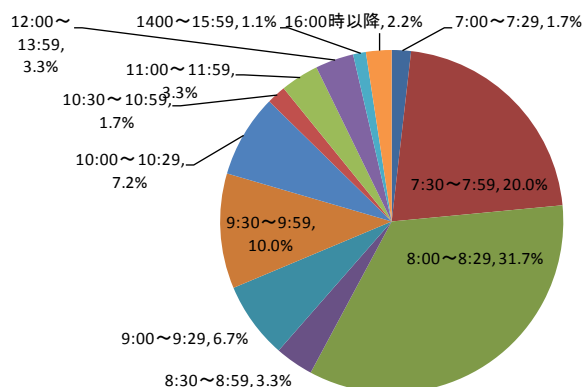
選択肢	回答数	回答者(166人)に対する割合
九大学研都市駅	119	71.7%
周船寺	25	15.1%
泉	2	1.2%
横浜	3	1.8%
その他	17	10.2%



②伊都キャンパスへの乗車時間帯

8:00～8:29が31.7%（57人）と最も多く、ついで7:30～7:59が20.0%（36人）と多い。

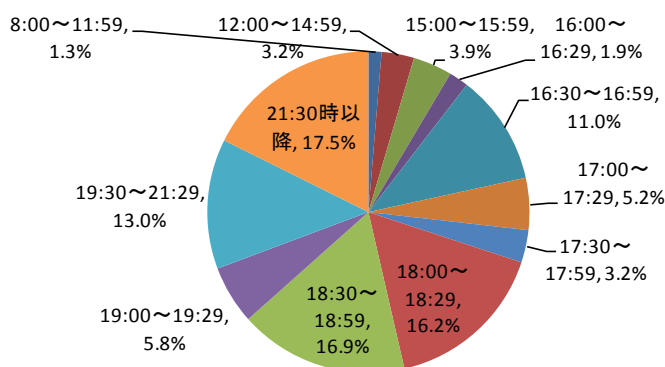
選択肢	回答数	回答者(166人)に対する割合
7:00～7:29	3	1.7%
7:30～7:59	36	20.0%
8:00～8:29	57	31.7%
8:30～8:59	6	3.3%
9:00～9:29	12	6.7%
9:30～9:59	18	10.0%
10:00～10:29	13	7.2%
10:30～10:59	3	1.7%
11:00～11:59	6	3.3%
12:00～13:59	6	3.3%
14:00～15:59	2	1.1%
16:00時以降	4	2.2%



③伊都キャンパスからの乗車時間帯

21:30時以降が17.5%（27人）と最も多く、ついで18:30～18:59が16.9%（26人）と多い。

選択肢	回答数	回答者(154人)に対する割合
8:00～11:59	2	1.3%
12:00～14:59	5	3.2%
15:00～15:59	6	3.9%
16:00～16:29	3	1.9%
16:30～16:59	17	11.0%
17:00～17:29	8	5.2%
17:30～17:59	5	3.2%
18:00～18:29	25	16.2%
18:30～18:59	26	16.9%
19:00～19:29	9	5.8%
19:30～21:29	20	13.0%
21:30時以降	27	17.5%

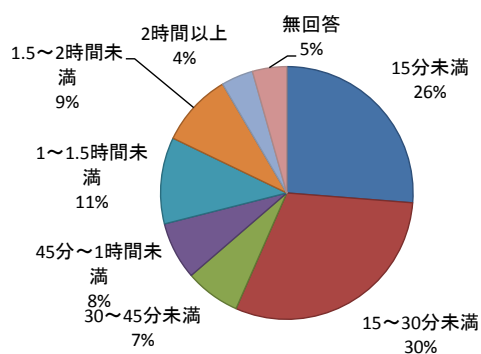


10. 通学時間(片道)

『通学時間（片道）について、該当する項目にチェックをして下さい。』

通学時間は、「15 分から 30 分未満」が 30.3%（172 人）と最も多く、ついで「15 分未満」が 26.3%（149 人）である。昨年度と比較すると、15 分未満の学生が若干増加している。

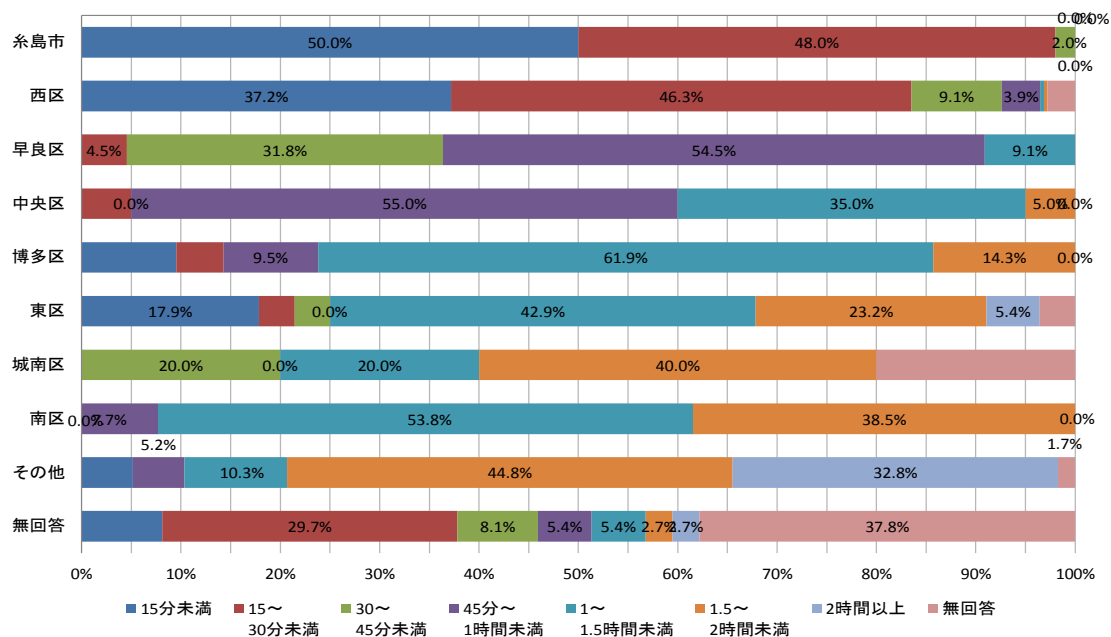
選択項目	回答数	構成比
15分未満	149	26.3%
15～30分未満	172	30.3%
30～45分未満	40	7.1%
45分～1時間未満	42	7.4%
1～1.5時間未満	63	11.1%
1.5～2時間未満	53	9.3%
2時間以上	23	4.1%
無回答	25	4.4%
計	567	100.0%



10-1. 現在の住所とのクロス集計

糸島市、西区に住んでいる学生の通学時間は、「15分～30分未満」が糸島市で48.0%（24人）、西区で46.3%（132人）と多く、ついで「15分未満」が糸島市で50.0%（25人）、西区で37.2%（106人）である。前年度と比較すると、中央区、早良区では、「45分～1時間未満」、東区、博多区、南区では「1時間～1.5時間」の割合が高い。

	15分未満	15～30分未満	30～45分未満	45分～1時間未満	1～1.5時間未満	1.5～2時間未満	2時間以上	無回答	計
糸島市	25 50.0%	24 48.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 100.0%
西区	106 37.2%	132 46.3%	26 9.1%	11 3.9%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	8 2.8%	285 100.0%
早良区	0 0.0%	1 4.5%	7 31.8%	12 54.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
中央区	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	11 55.0%	7 35.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
博多区	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%	13 61.9%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
東区	10 17.9%	2 3.6%	2 3.6%	0 0.0%	24 42.9%	13 23.2%	3 5.4%	2 3.6%	56 100.0%
城南区	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%
南区	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	7 53.8%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	13 100.0%
その他	3 5.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.2%	6 10.3%	26 44.8%	19 32.8%	1 1.7%	58 100.0%
無回答	3 8.1%	11 29.7%	3 8.1%	2 5.4%	2 5.4%	1 2.7%	1 2.7%	14 37.8%	37 100.0%
計	149	172	40	42	63	52	23	26	567

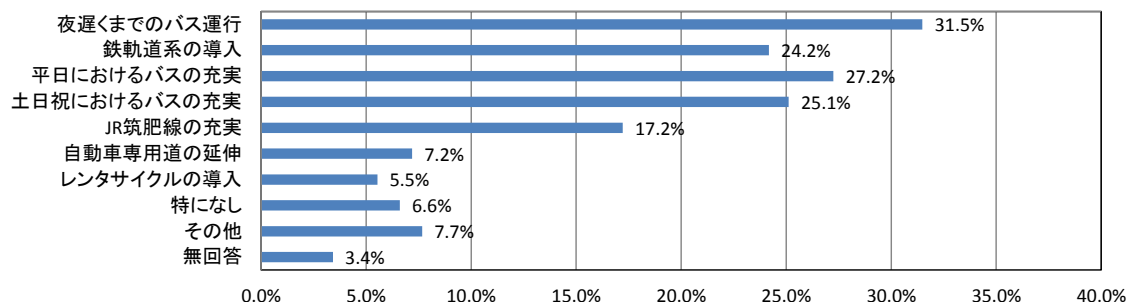


11. 利便性をさらに向上させるために必要なもの・希望(複数回答)

『伊都キャンパスへの通学に関し、今後、利便性をさらに向上させていく上で、必要なもの・希望することはありませんか。該当する項目にチェックをして下さい。』

バスの充実に関する希望が多く、「夜遅くまでのバス運行」に対する希望は 31.5%と高い。駅ーキャンパス間の鉄軌道系の導入への希望も見られる。

選択項目	回答数	構成比
夜遅くまでのバス運行	267	31.5%
鉄軌道系の導入	205	24.2%
平日におけるバスの充実	231	27.2%
土日祝におけるバスの充実	213	25.1%
JR筑肥線の充実	146	17.2%
自動車専用道の延伸	61	7.2%
レンタサイクルの導入	47	5.5%
特になし	56	6.6%
その他	65	7.7%
無回答	29	3.4%



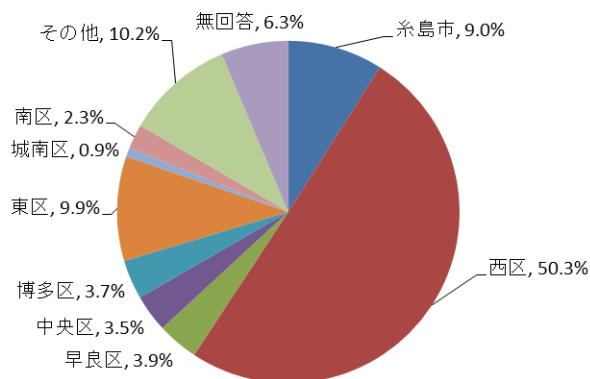
〈住宅について〉

1 2. 現在の住所（記述式）

『あなたはどこにお住まいですか。下の欄に○丁目まで記入して下さい。』

現在の住所は、西区は 50.3%（285 人）で最も多く、ついで東区が 9.9%（56 人）であり、市区別でみると、東区から通う学生が多いことがわかる。西区の中では、桑原（54 人）、徳永（41 人）、周船寺（33 人）が多い傾向にある。

住所	回答数	構成比
糸島市	51	9.0%
西区	285	50.3%
早良区	22	3.9%
中央区	20	3.5%
博多区	21	3.7%
東区	56	9.9%
城南区	5	0.9%
南区	13	2.3%
その他	58	10.2%
無回答	36	6.3%
計	567	100.0%



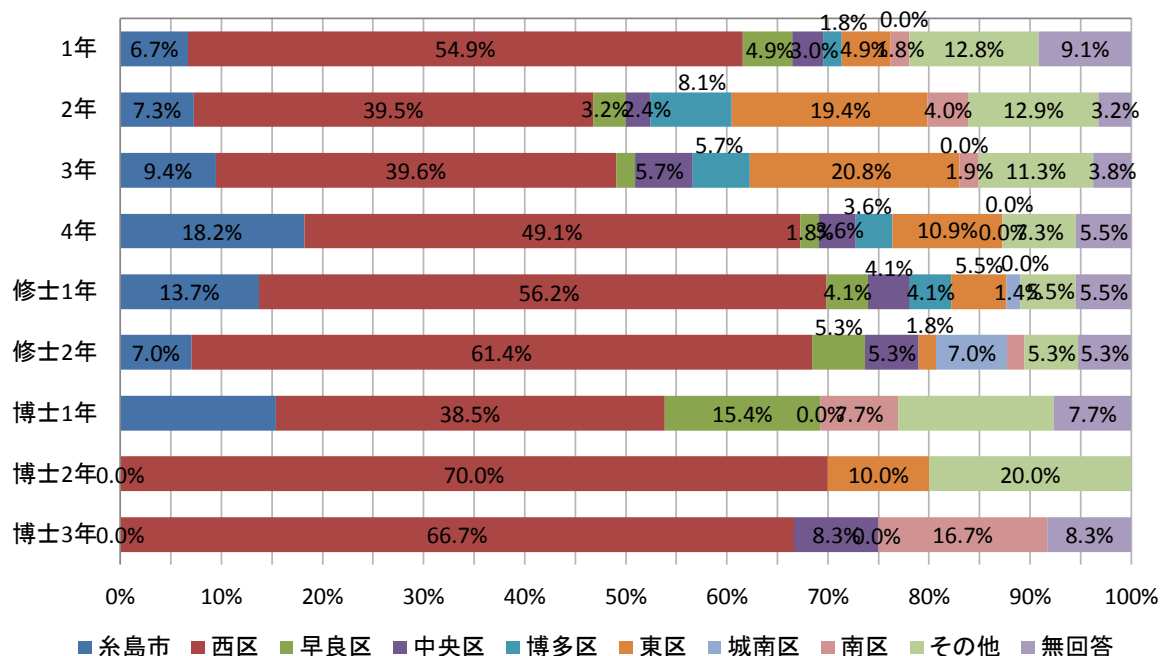
	西区町名(回答数)			周船寺 (33)	
	町名	回答数		町名	回答数
西区東側（長垂山以東）	姪浜	(8)	西区西側（長垂山以西）	富士見	(28)
	姪浜駅南	(3)		桑原	(54)
	小戸	(3)		田尻	(14)
	下山門	(4)		今宿	(7)
	豊浜	(0)		今宿青木	(2)
	野方	(1)		今宿東	(1)
	愛宕	(4)		今宿駅前	(3)
	愛宕南	(0)		今宿町	(8)
	愛宕浜	(1)		飯氏	(8)
	生の松原	(4)		女原	(20)
	福重	(1)		横浜	(6)
	大町団地	(0)		泉	(4)
				元岡	(4)
				徳永	(41)
				千里	(3)

糸島市町名(回答数)	
高田	13
泊	10
泊かつらぎ	5
前原北	2
波多江駅北	4
波多江駅南	8
板持	3
荻浦	2
その他	4

12-1. 学年とのクロス集計

どの学年においても西区の居住割合が高い。1年生では、糸島市居住者が若干減少している。学年が上がるにつれて東区の居住割合が増加している。

	糸島市	西区	早良区	中央区	博多区	東区	城南区	南区	その他	無回答	計
1年	11 6.7%	90 54.9%	8 4.9%	5 3.0%	3 1.8%	8 4.9%	0 0.0%	3 1.8%	21 12.8%	15 9.1%	164 100.0%
2年	9 7.3%	49 39.5%	4 3.2%	3 2.4%	10 8.1%	24 19.4%	0 0.0%	5 4.0%	16 12.9%	4 3.2%	124 100.0%
3年	5 9.4%	21 39.6%	1 1.9%	3 5.7%	3 5.7%	11 20.8%	0 0.0%	1 1.9%	6 11.3%	2 3.8%	53 100.0%
4年	10 18.2%	27 49.1%	1 1.8%	2 3.6%	2 3.6%	6 10.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 7.3%	3 5.5%	55 100.0%
修士1年	10 13.7%	41 56.2%	3 4.1%	3 4.1%	3 4.1%	4 5.5%	1 1.4%	0 0.0%	4 5.5%	4 5.5%	73 100.0%
修士2年	4 7.0%	35 61.4%	3 5.3%	3 5.3%	0 0.0%	1 1.8%	4 7.0%	1 1.8%	3 5.3%	3 5.3%	57 100.0%
博士1年	2 15.4%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	13 100.0%
博士2年	0 0.0%	7 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%
博士3年	0 0.0%	8 66.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	12 100.0%
研究生等	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
無回答	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	4 100.0%
計	51	285	22	20	21	56	5	13	58	35	567

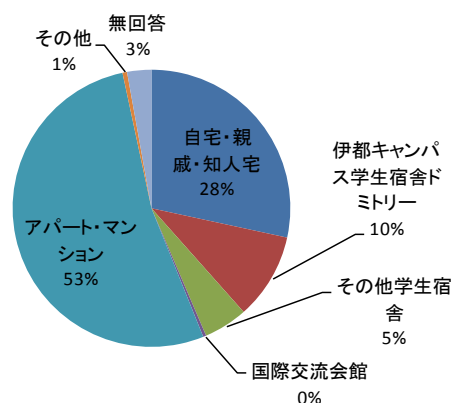


1.3. 現在の居住形態

『あなたの居住について、該当する項目にチェックをして下さい』

68.8%（390 人）の学生が自宅等以外に住んでおり、アパート・マンションに住んでいる学生が 52.7%（299 人）と最も多い。昨年度と比較すると、伊都キャンパス学生宿舎ドミトリーの割合が若干増加している。

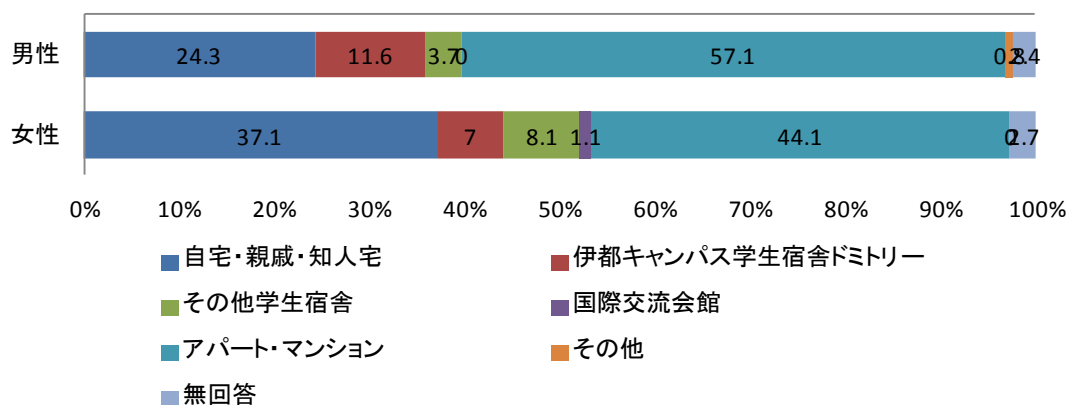
選択項目	回答数	構成比
自宅・親戚・知人宅	161	28.4%
伊都キャンパス学生宿舎ドミトリー	57	10.1%
その他学生宿舎	29	5.1%
国際交流会館	2	0.4%
アパート・マンション	299	52.7%
その他	3	0.5%
無回答	16	2.8%
計	567	100.0%



1.3-1. 性別とのクロス集計

男性の 57%（216 人）がアパート・マンションに住んでおり、女性（アパート・マンション、44%、82 人）よりも多い。

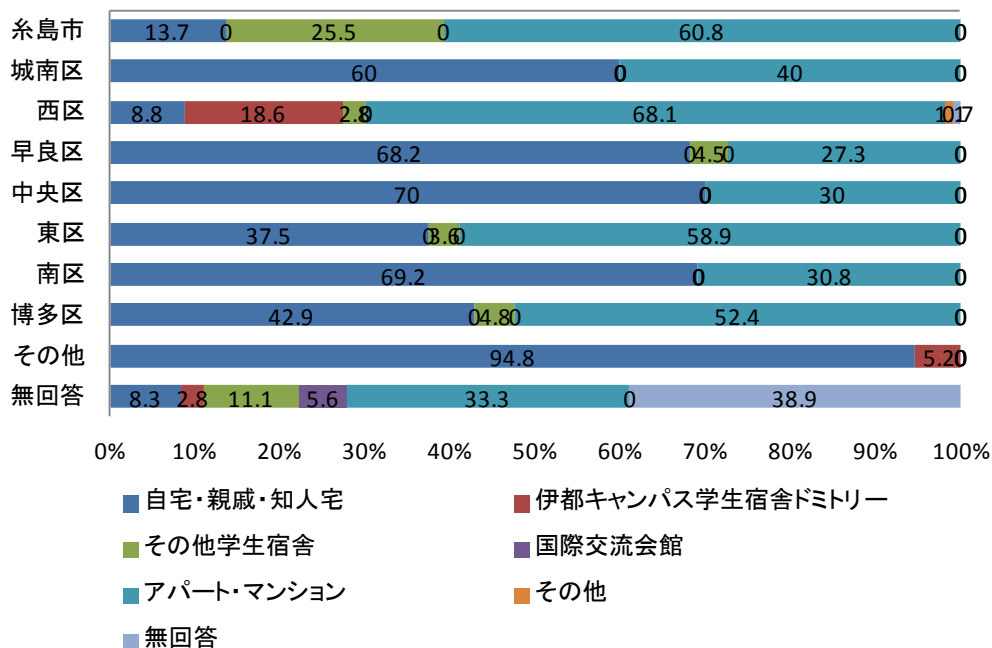
	自宅・親戚・知人宅	伊都キャンパス学生宿舎ドミトリー	その他学生宿舎	国際交流会館	アパート・マンション	その他	無回答	計
男性	92	44	14	0	216	3	9	378
	24%	12%	4%	0%	57%	1%	2%	100%
女性	69	13	15	2	82	0	5	186
	37%	7%	8%	1%	44%	0%	3%	100%
無回答	0	0	0	0	1	0	2	3
	0%	0%	0%	0%	33%	0%	67%	100%
計	161	57	29	2	299	3	16	567



13-2. 現在の住所とのクロス集計

現在の住居を「アパート・マンション」と答えた学生の割合は、西区が 68%（194 人）、糸島市も 61%（31 人）である。昨年度と比較すると、西区のアパート・マンション暮らしの学生割合が減少し、その一方で西区の伊都キャンパス学生宿舎ドミトリーの割合が若干増加している。

	自宅・親戚・知人宅	伊都キャンパス学生宿舎ドミトリー	その他学生宿舎	国際交流会館	アパート・マンション	その他	無回答	計
糸島市	7	0	13	0	31	0	0	51
	14%	0%	26%	0%	61%	0%	0%	100%
城南区	3	0	0	0	2	0	0	5
	60%	0%	0%	0%	40%	0%	0%	100%
西区	25	53	8	0	194	3	2	285
	9%	19%	3%	0%	68%	1%	1%	100%
早良区	15	0	1	0	6	0	0	22
	68%	0%	5%	0%	27%	0%	0%	100%
中央区	14	0	0	0	6	0	0	20
	70%	0%	0%	0%	30%	0%	0%	100%
東区	21	0	2	0	33	0	0	56
	38%	0%	4%	0%	59%	0%	0%	100%
南区	9	0	0	0	4	0	0	13
	69%	0%	0%	0%	31%	0%	0%	100%
博多区	9	0	1	0	11	0	0	21
	43%	0%	5%	0%	52%	0%	0%	100%
その他	55	3	0	0	0	0	0	58
	95%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
無回答	3	1	4	2	12	0	14	36
	8%	3%	11%	6%	33%	0%	39%	100%
計	161	57	29	2	299	3	16	567



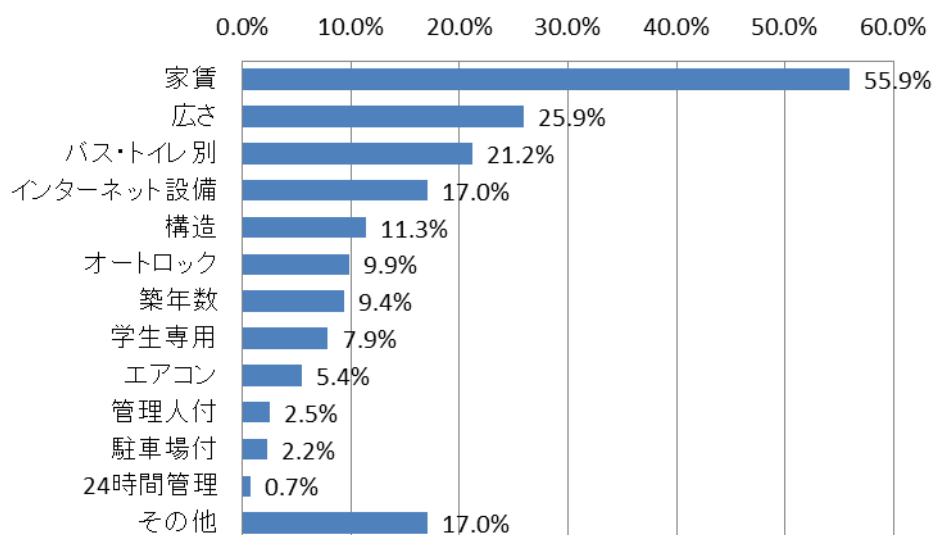
14. 居住地選択の際の重要事項

(2項目まで選択可, 問13で2~5(自宅等・その他以外)を選択した方のみ)

『居住地決定に当たり、居住条件や設備で何を主に重視しましたか。上位2位まで挙げ、該当する項目にチェックをして下さい。(2項目まで選択可)』

居住地決定時に重視するものとしては、「家賃」が55.9%(227人)と最も高く、ついで「広さ」(25.9%、105人)、バス・トイレ別(21.1%、86人)である。昨年度と比較すると、全体の順位を比較すると、「オートロック」が順位を下げている。

選択項目	回答数	回答者(406人)に対する割合
家賃	227	55.9%
広さ	105	25.9%
バス・トイレ別	86	21.2%
インターネット設備	69	17.0%
構造	46	11.3%
オートロック	40	9.9%
築年数	38	9.4%
学生専用	32	7.9%
エアコン	22	5.4%
管理人付	10	2.5%
駐車場付	9	2.2%
24時間管理	3	0.7%
その他	69	17.0%



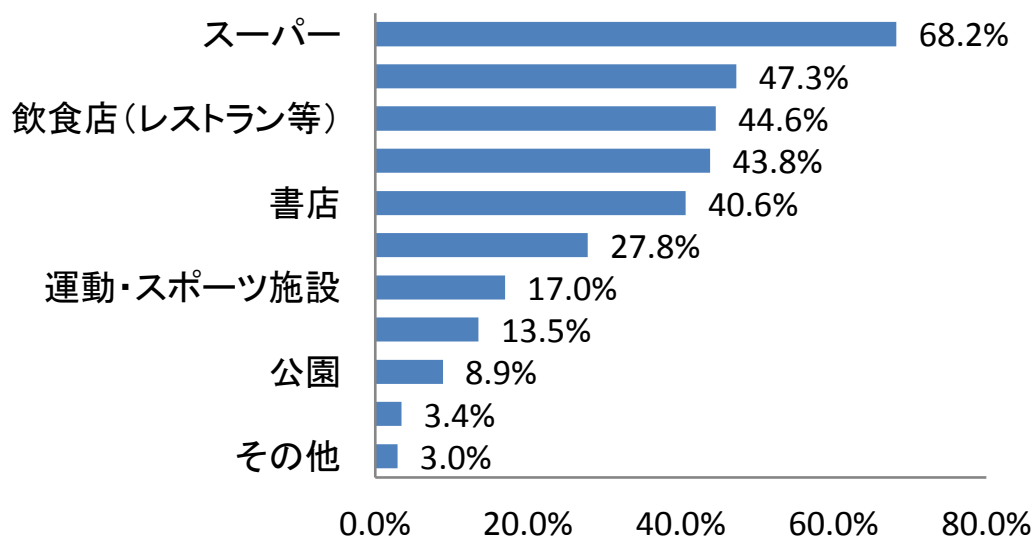
15. 居住地周辺に必要な施設

(複数選択可、問13で2～6(自宅等・その他以外)を選択した方のみ)

『自宅周辺に必要と思われる施設は何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。(複数選択可)』

「スーパー」が68.2%(277人)と最も多く選ばれ、ついで「銀行・郵便局」47.3%(192人)、飲食店(レストラン等)44.6%(181人)、コンビニ43.8%(178人)であった。昨年度と比較すると、飲食店(レストラン等)の順位が上がっている。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
スーパー	277	68.2%
銀行・郵便局	192	47.3%
飲食店(レストラン等)	181	44.6%
コンビニ	178	43.8%
書店	165	40.6%
娯楽施設	113	27.8%
運動・スポーツ施設	69	17.0%
クリーニング店	55	13.5%
公園	36	8.9%
公共広場	14	3.4%
その他	12	3.0%



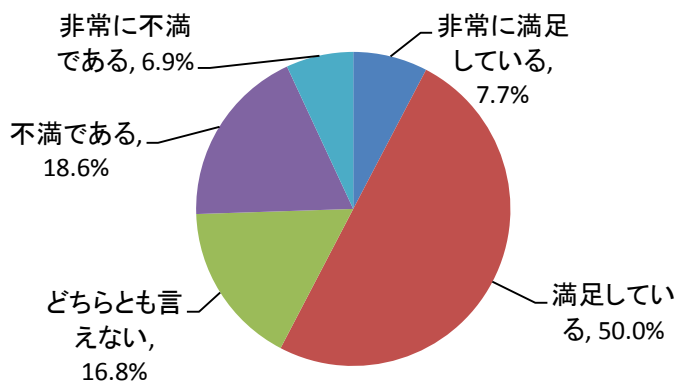
16. 居住地周辺の満足度

（2項目まで選択可，問16で2～5（自宅等・その他以外）を選択した方のみ）

『現在の居住地の周辺環境に満足していますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「非常に満足している」、「満足している」と答えた学生は計 57.7%（233 人）であり、「非常に不満である」、「不満である」と答えた学生は計 25.5%（103 人）であった。

選択項目	回答数	構成比
非常に満足している	31	7.7%
満足している	202	50.0%
どちらとも言えない	68	16.8%
不満である	75	18.6%
非常に不満である	28	6.9%
計	404	100.0%



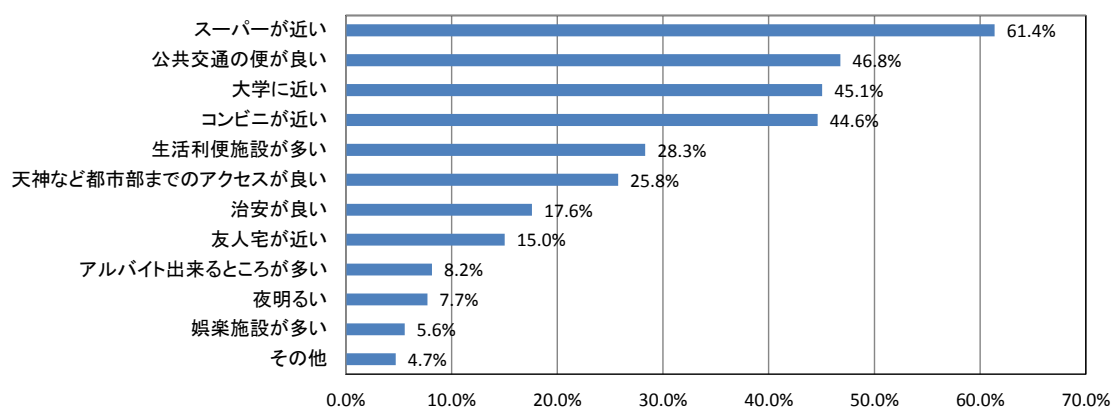
17. 周辺環境に満足している理由

(複数回答, 問16で「非常に満足している」「満足している」を回答した方のみ)

『どのような点に満足していますか。該当する項目にチェックをして下さい。(複数選択可)』

「スーパーが近い」が 61.4% (143 人) と最も大きく、ついで「公共交通の便が良い」 46.8% (109 人) であった。概ねこれらの評価は昨年度とあまり変わらない。

選択項目	回答数	回答者に(233人) 対する割合
スーパーが近い	143	61.4%
公共交通の便が良い	109	46.8%
大学に近い	105	45.1%
コンビニが近い	104	44.6%
生活利便施設が多い	66	28.3%
天神など都市部までのアクセスが良い	60	25.8%
治安が良い	41	17.6%
友人宅が近い	35	15.0%
アルバイト出来るところが多い	19	8.2%
夜明るい	18	7.7%
娯楽施設が多い	13	5.6%
その他	11	4.7%



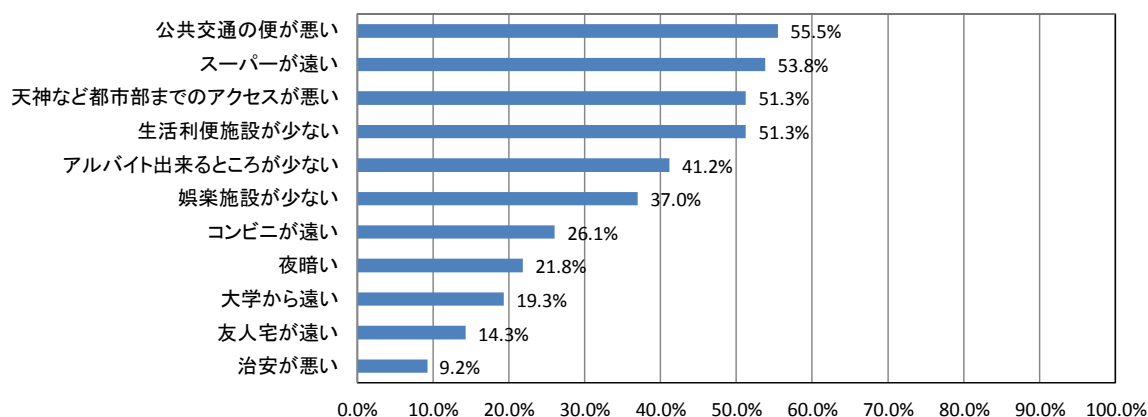
18. 周辺環境に不満な理由

(複数回答, 問16で「非常に不満である」「不満である」を回答した方のみ)

『どのような点に不満を感じていますか。該当する項目にチェックをして下さい。(複数選択可)』

「公共交通の便が悪い」が 55.5% (66 人) と最も多く、ついで「スーパーが遠い」が (53.8%、64 人)、「天神など都市部までのアクセスが悪い」(51.3% 61) であり、昨年度と比較して「スーパーが遠い」が増加し、「アルバイトができる所が少ない」が減少していることがわかる。

選択項目	回答数	回答者に(119人)に対する割合
公共交通の便が悪い	66	55.5%
スーパーが遠い	64	53.8%
天神など都市部までのアクセスが悪い	61	51.3%
生活利便施設が少ない	61	51.3%
アルバイト出来るところが少ない	49	41.2%
娯楽施設が少ない	44	37.0%
コンビニが遠い	31	26.1%
夜暗い	26	21.8%
大学から遠い	23	19.3%
友人宅が遠い	17	14.3%
治安が悪い	11	9.2%
その他	16	13.4%

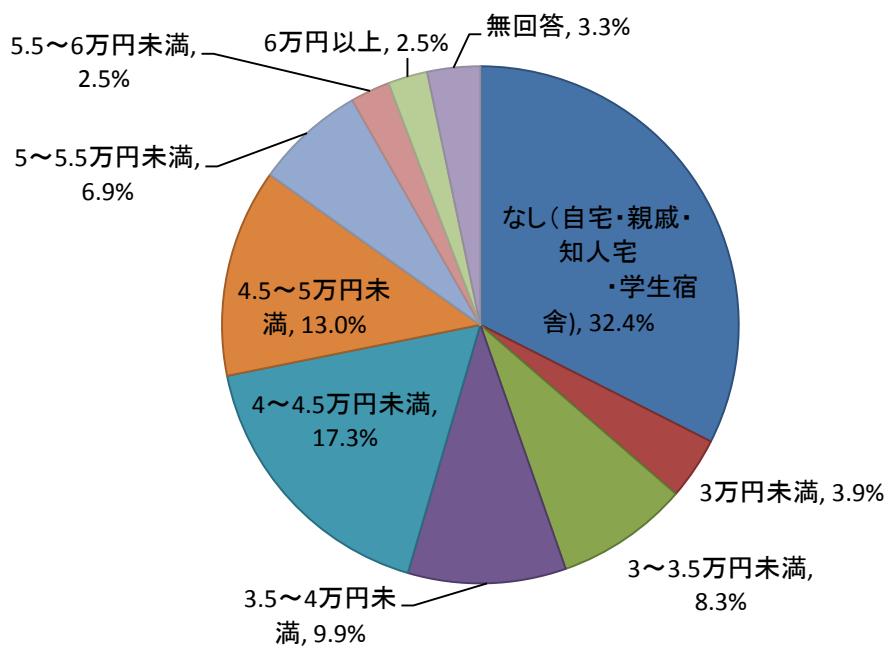


19. 住居の部屋代

『22. 一ヶ月の部屋代はいくらですか。該当する項目にチェックをして下さい。(駐車場料金、共益費は除く)』

自宅等を除くと4～4.5万円未満が17.3%（98人）と最も多く、ついで4.5～5万円未満が13.1%（74人）である。前年度とあまり変わらない。

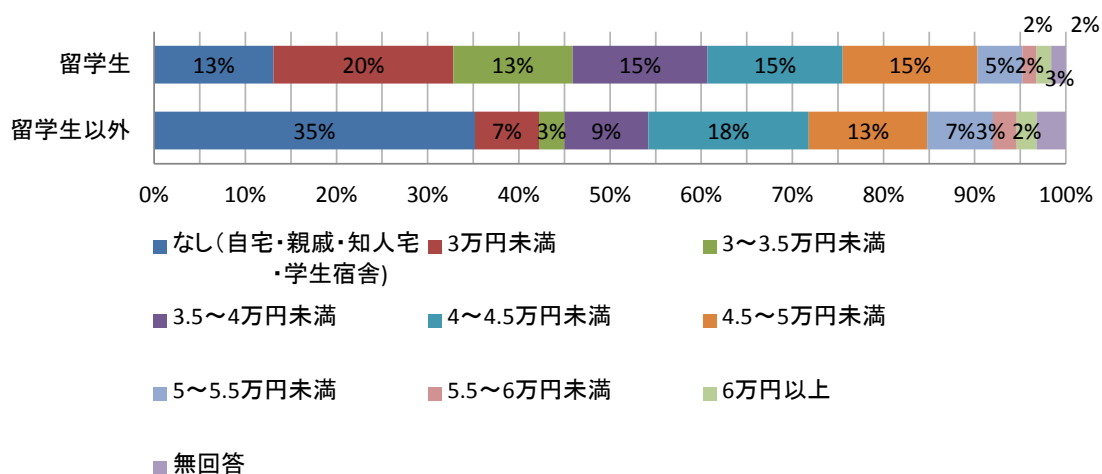
選択項目	回答数	構成比
なし(自宅・親戚・知人宅・学生宿舎)	184	32.4%
3万円未満	22	3.9%
3～3.5万円未満	47	8.3%
3.5～4万円未満	56	9.9%
4～4.5万円未満	98	17.3%
4.5～5万円未満	74	13.0%
5～5.5万円未満	39	6.9%
5.5～6万円未満	14	2.5%
6万円以上	14	2.5%
無回答	19	3.3%
計	567	100.0%



19-1. 留学生とのクロス集計

留学生は価格帯のピークが2つあり、3万円未満と、3.5～4万円未満、4～4.5万円未満、4～4.5万円未満が多く、ばらつきも大きい。

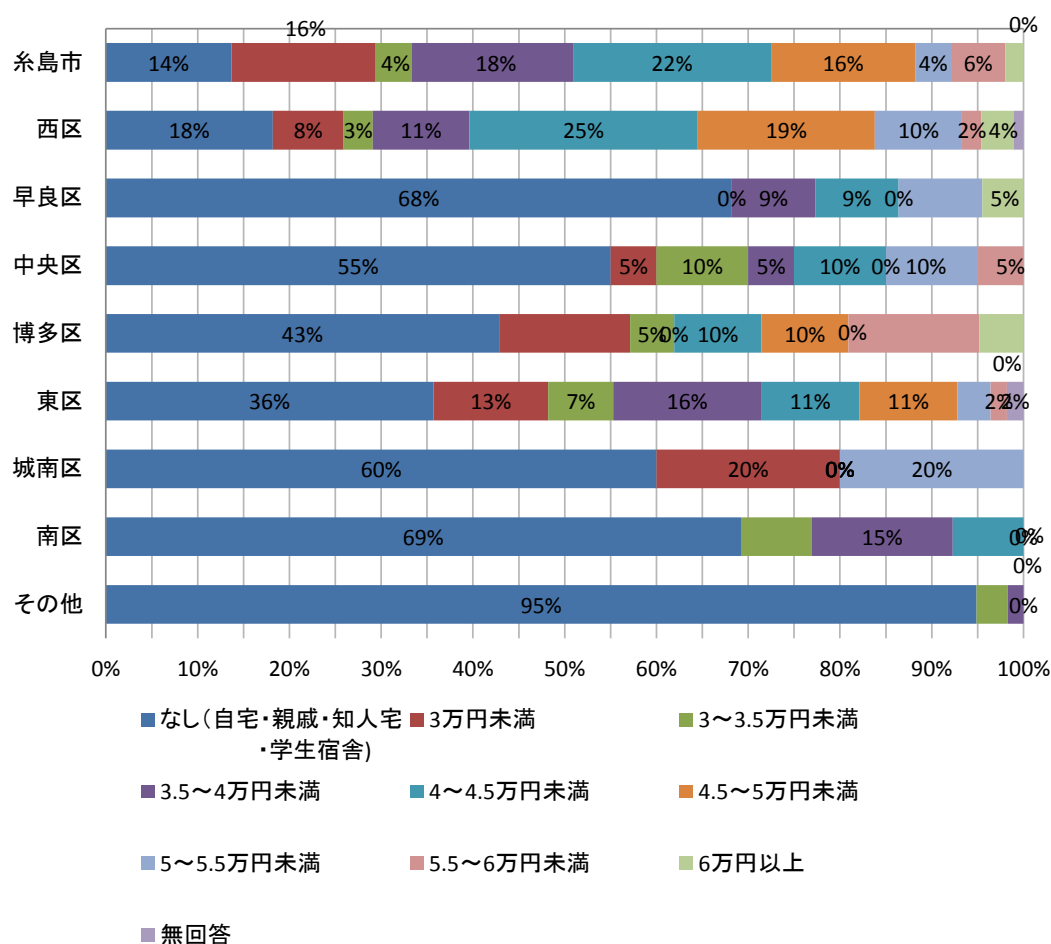
	なし(自宅・親戚・知人宅・学生宿舎)	3万円未満	3～3.5万円未満	3.5～4万円未満	4～4.5万円未満	4.5～5万円未満	5～5.5万円未満	5.5～6万円未満	6万円以上	無回答	計
留学生	8 13.1%	12 19.7%	8 13.1%	9 14.8%	9 14.8%	9 14.8%	3 4.9%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	61 100.0%
留学生以外	176 35.2%	35 7.0%	14 2.8%	46 9.2%	88 17.6%	65 13.0%	36 7.2%	13 2.6%	11 2.2%	16 3.2%	500 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	6 100.0%
計	184	47	22	56	98	74	39	14	14	19	567



19-2. 現在の住所とのクロス集計

糸島市で最も多い価格帯は4～4.5万円未満（22%、11人）であり、西区で最も多い価格帯も4～4.5万円未満（25%、71人）である。

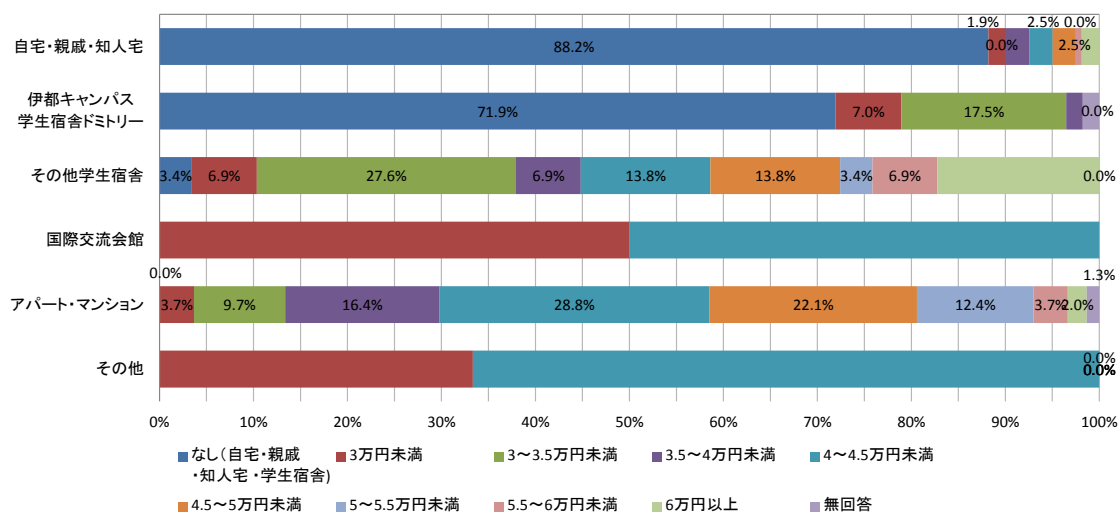
	なし(自宅・親戚・知人宅・学生宿舎)	3万円未満	3～3.5万円未満	3.5～4万円未満	4～4.5万円未満	4.5～5万円未満	5～5.5万円未満	5.5～6万円未満	6万円以上	無回答	計
糸島市	7	8	2	9	11	8	2	3	1	0	51
	13.7%	15.7%	3.9%	17.6%	21.6%	15.7%	3.9%	5.9%	2.0%	0.0%	100.0%
西区	52	22	9	30	71	55	27	6	10	3	285
	18.2%	7.7%	3.2%	10.5%	24.9%	19.3%	9.5%	2.1%	3.5%	1.1%	100.0%
早良区	15	0	0	2	2	0	2	0	1	0	22
	68.2%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	4.5%	0.0%	100.0%
中央区	11	1	2	1	2	0	2	1	0	0	20
	55.0%	5.0%	10.0%	5.0%	10.0%	0.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
博多区	9	3	1	0	2	2	0	3	1	0	21
	42.9%	14.3%	4.8%	0.0%	9.5%	9.5%	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%	100.0%
東区	20	7	4	9	6	6	2	1	0	1	56
	35.7%	12.5%	7.1%	16.1%	10.7%	10.7%	3.6%	1.8%	0.0%	1.8%	100.0%
城南区	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5
	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
南区	9	0	1	2	1	0	0	0	0	0	13
	69.2%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	55	0	2	1	0	0	0	0	0	0	58
	94.8%	0.0%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	3	5	1	2	3	3	3	0	1	15	36
	8.3%	13.9%	2.8%	5.6%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	2.8%	41.7%	100.0%
計	184	47	22	56	98	74	39	14	14	19	567



19-3. 現在の居住形態とのクロス集計

「アパート・マンション」に住んでいる学生の1ヶ月の部屋代は、「4～4.5万円未満」が28.8%（86人）と最も多く、ついで「4.5～5万円未満」が22.1%（66人）である。

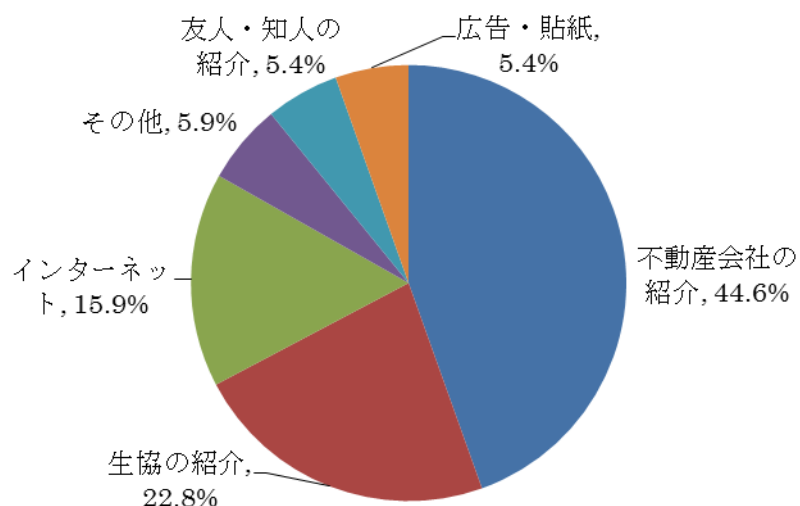
	なし(自宅・親戚・知人宅・学生宿舎)	3万円未満	3～3.5万円未満	3.5～4万円未満	4～4.5万円未満	4.5～5万円未満	5～5.5万円未満	5.5～6万円未満	6万円以上	無回答	計
自宅・親戚・知人宅	142	3	0	4	4	4	0	1	3	0	161
	88.2%	1.9%	0.0%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.6%	1.9%	0.0%	100.0%
伊都キャンパス学生宿舎ドミトリー	41	4	10	1	0	0	0	0	0	1	57
	71.9%	7.0%	17.5%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
その他学生宿舎	1	2	8	2	4	4	1	2	5	0	29
	3.4%	6.9%	27.6%	6.9%	13.8%	13.8%	3.4%	6.9%	17.2%	0.0%	100.0%
国際交流会館	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アパート・マンション	0	11	29	49	86	66	37	11	6	4	299
	0.0%	3.7%	9.7%	16.4%	28.8%	22.1%	12.4%	3.7%	2.0%	1.3%	100.0%
その他	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	0	0	0	0	1	0	1	0	0	14	16
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	87.5%	100.0%
計	184	22	47	56	98	74	39	14	14	19	567



20. 現在の住居を探した方法（問22で2～9（「部屋代なし」以外）を選択した方のみ）

『問19で『なし（自宅・親戚・知人宅）・学生寄宿舍』以外を選択した方にお尋ねします。現在の居住は主にどのようにして探しましたか。該当する項目にチェックをして下さい。』住居の探し方では、不動産会社が44.6%（90人）と最も多く、ついで生協の紹介が22.8%（46人）であった。昨年度の結果と比較すると、その他の割合が増加し、不動産会社の紹介が減少している。

選択項目	回答数	回答者(202人)に対する割合
不動産会社の紹介	90	44.6%
生協の紹介	46	22.8%
インターネット	32	15.9%
その他	12	5.9%
友人・知人の紹介	11	5.4%
広告・貼紙	11	5.4%

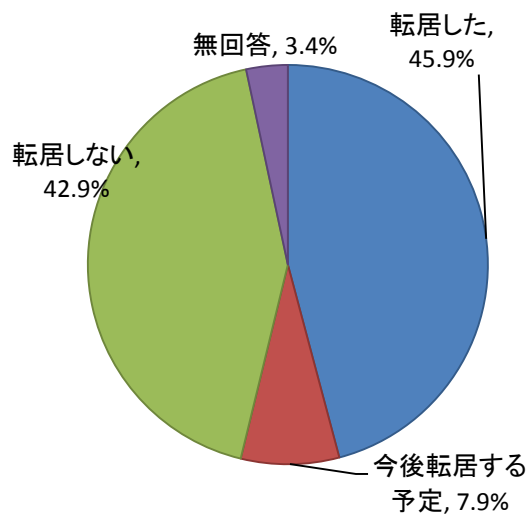


21. 伊都キャンパス移転に伴う転居について

『伊都キャンパスへ通学するために、転居しましたか。もしくは、今後、転居しますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

転居済みの学生が 45.9%（260 人）で最も多いが、転居しない学生も 42.9%（243 人）と多く、前年度と同じ傾向にある。

選択項目	回答数	構成比
転居した	260	45.9%
今後転居する予定	45	7.9%
転居しない	243	42.9%
無回答	19	3.4%
計	567	100.0%

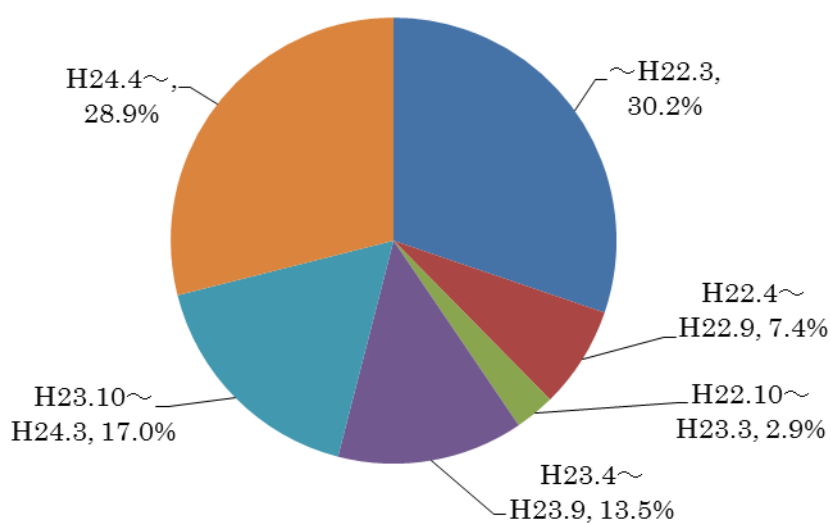


22. 転居時期（問21で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『問21で1，2を選択した方にお尋ねします。転居した又は転居を予定している時期について、該当する項目にチェックをして下さい。』

平成22年3月までの間以前が30.2%と平成24年4月以降が28.9%と高い。

選択項目	回答数	回答者(301人)に対する割合
平成22年3月までの間以前	94	30.2%
平成22年4月から 平成21年9月までの間	23	7.4%
平成22年10月から 平成22年3月までの間	9	2.9%
平成23年4月から 平成22年9月までの間	42	13.5%
平成23年10月から 平成23年3月までの間	53	17.0%
平成24年4月以降	90	28.9%

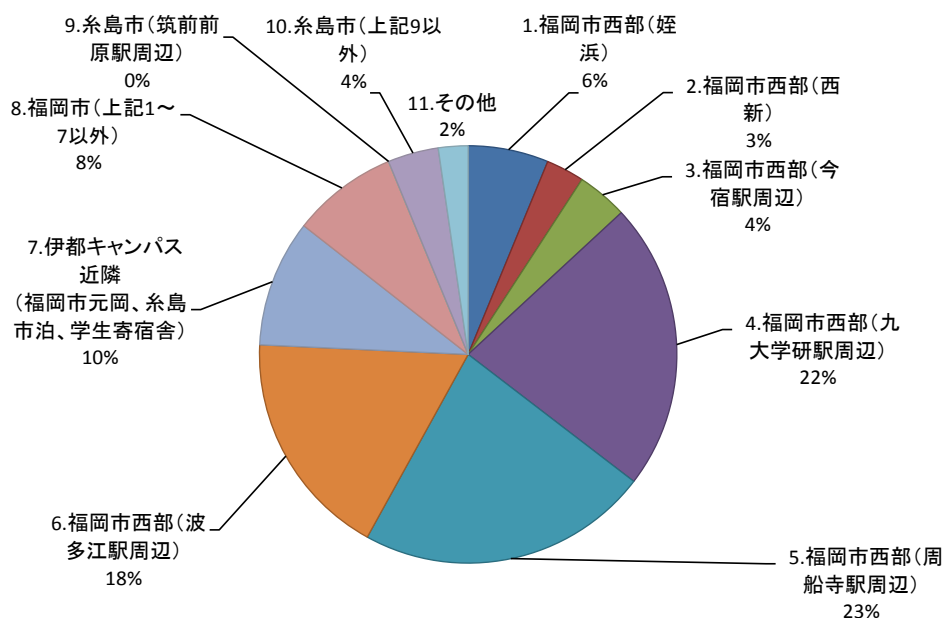


23. 転居エリア（問21で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『問21で1，2を選択した方にお尋ねします。転居した又は転居を希望するエリアについて、該当する項目にチェックをして下さい。』

福岡市西部（周船寺駅周辺）が22.6%（69人）と最も多く、ついで福岡市西部（九大学研都市駅周辺）が22.3%（68人）、福岡市西部（波多江駅周辺）が17.7%（54人）である。昨年度と比較すると、伊都キャンパス近隣が大きく減少し、福岡市西部（波多江駅周辺）が大きく割合を伸ばしている。

選択項目	回答数	回答者(305人)に対する割合
1.福岡市西部(姪浜)	19	6.3%
2.福岡市西部(西新)	9	3.0%
3.福岡市西部(今宿駅周辺)	12	3.9%
4.福岡市西部(九大学研駅周辺)	68	22.3%
5.福岡市西部(周船寺駅周辺)	69	22.6%
6.福岡市西部(波多江駅周辺)	54	17.7%
7.伊都キャンパス近隣 (福岡市元岡、糸島市泊、学生寄宿)	30	9.8%
8.福岡市(上記1～7以外)	25	8.2%
9.糸島市(筑前前原駅周辺)	0	0.0%
10.糸島市(上記9以外)	12	3.9%
11.その他	7	2.3%

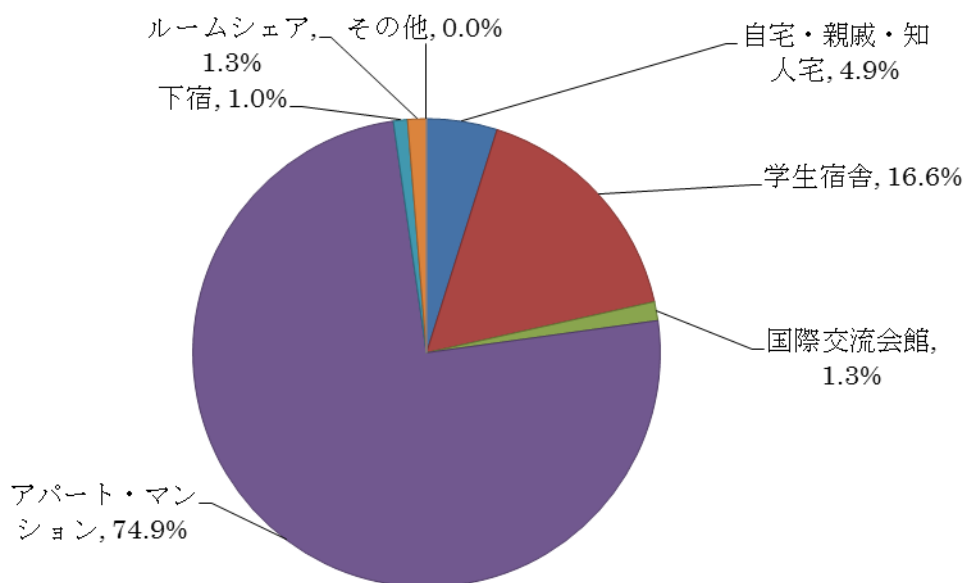


24. 希望の居住形態（問21で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『転居した又は転居を希望する居住形態について、該当する項目にチェックをして下さい。』

転居した又は転居を希望する住居形態は「アパート・マンション」が74.9%（230人）と最も多い。昨年度と比較すると、学生宿舎の割合が増加している。

選択項目	回答数	回答者(307人)に対する割合
自宅・親戚・知人宅	15	4.9%
学生宿舎	51	16.6%
国際交流会館	4	1.3%
アパート・マンション	230	74.9%
下宿	3	1.0%
ルームシェア	4	1.3%
その他	0	0.0%



25. ルームシェアタイプの居住

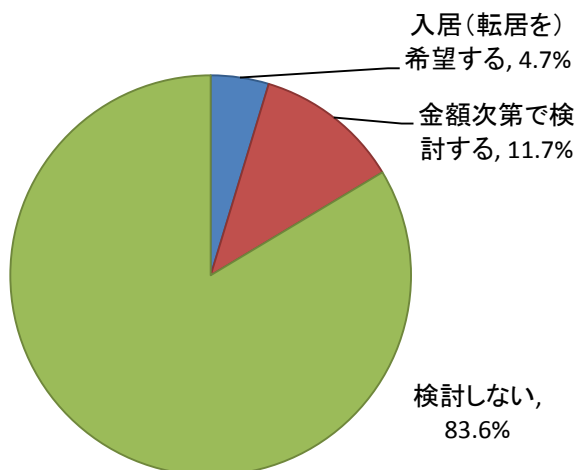
(問21で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ)

『問21で1, 2を選択した方にお尋ねします。ルームシェアタイプの住居への入居(転居)を検討しますか。(部屋のみ専有で、台所、洗面等は共同) 該当する項目にチェックをして下さい。』

入居(転居を)を検討または金額次第で検討する者は計49人(回答者全体299人に対する割合は16.4%)であった。金額は2~4万円を想定している。

選択項目	回答数	回答者(299人)に対する割合
入居(転居を)希望する	14	4.7%
金額次第で検討する	35	11.7%
検討しない	250	83.6%

検討する金額	回答数
1万円未満	7
1~2万円未満	4
2~3万円未満	11
3~4万円未満	7
4~5万円未満	1
5万円以上	0

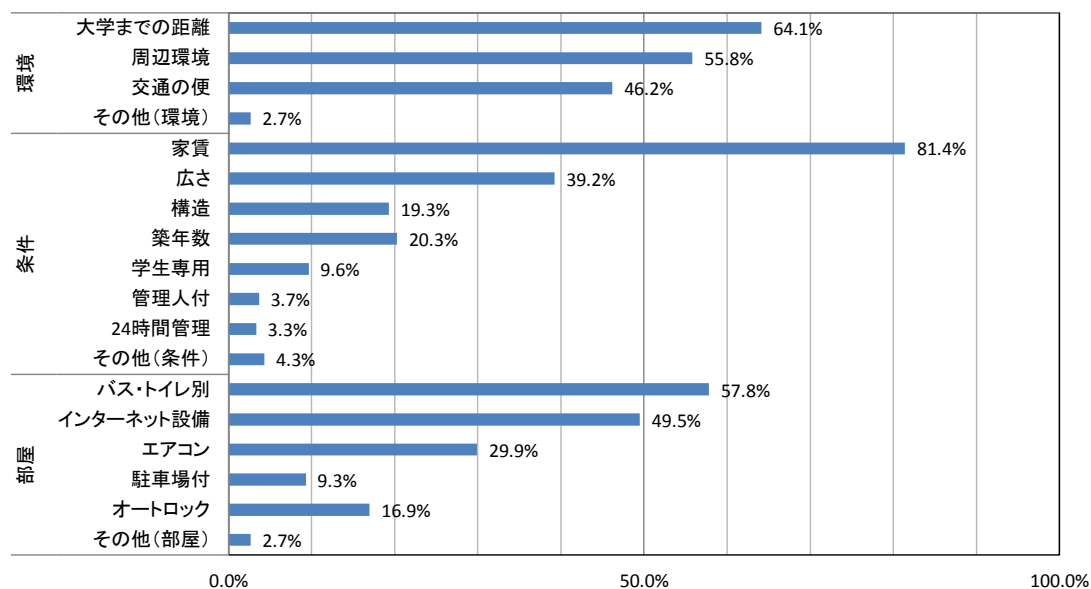


26. 転居の際の注意事項（問21で「転居した」「今後転居する予定」と選択した方のみ）

『転居の際、重視する（した）項目はどれですか。該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

「家賃」を選択した学生が81.4%（245人）と最も多く、ついで「大学までの距離」（64.1%、193人）、「バス・トイレ別」（57.8%、174人）である。昨年度の結果と比較すると、「大学までの距離」と「周辺環境」が大きく増加している。

選択項目		回答数	回答者(301人)に対する割合
環境	大学までの距離	193	64.1%
	周辺環境	168	55.8%
	交通の便	139	46.2%
	その他(環境)	8	2.7%
条件	家賃	245	81.4%
	広さ	118	39.2%
	構造	58	19.3%
	築年数	61	20.3%
	学生専用	29	9.6%
	管理人付	11	3.7%
	24時間管理	10	3.3%
	その他(条件)	13	4.3%
部屋	バス・トイレ別	174	57.8%
	インターネット設備	149	49.5%
	エアコン	90	29.9%
	駐車場付	28	9.3%
	オートロック	51	16.9%
	その他(部屋)	8	2.7%

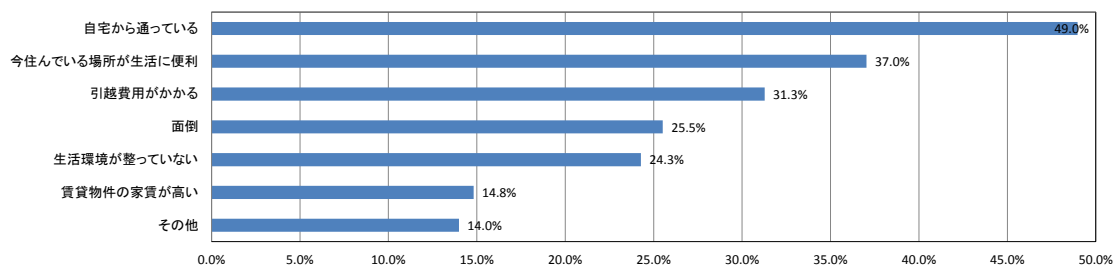


27. 転居しない理由（問21で「転居しない」と選択した方のみ）

『問21で3を選択した方にお尋ねします。転居をしない理由について、該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

転居しない理由は、「自宅から通っている」が49.0%（119人）と最も多く、ついで「今住んでいる場所が生活に便利」が37.0%（90人）である。昨年度と比較すると、「伊都キャンパス周辺の生活環境が整っていない」の回答割合が減少している。

選択項目	回答数	回答者に(243人) 対する割合
自宅から通っている	119	49.0%
生活環境が整っていない	59	24.3%
今住んでいる場所が生活に便利	90	37.0%
引越費用がかかる	76	31.3%
賃貸物件の家賃が高い	36	14.8%
面倒	62	25.5%
その他	34	14.0%

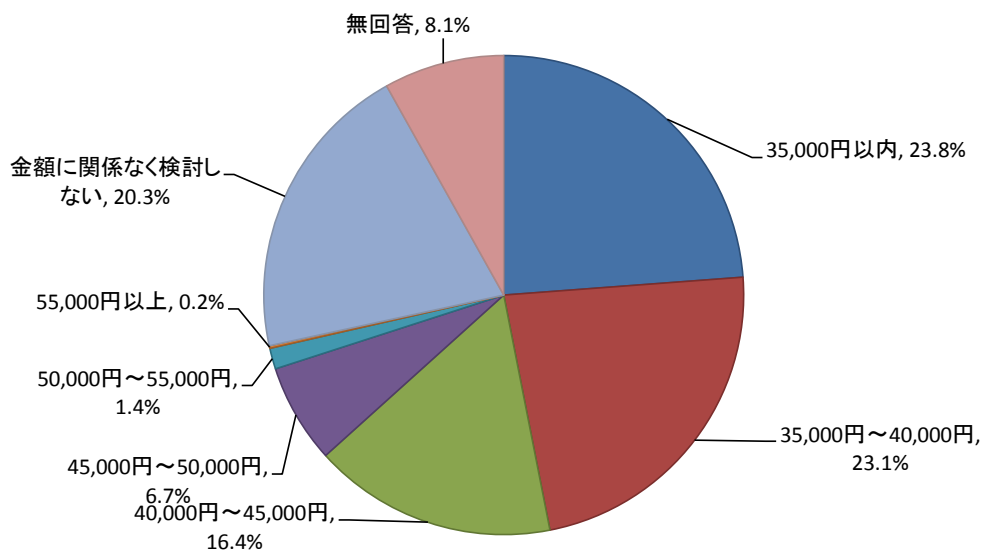


28. 民間賃貸物件の検討

『民家賃貸物件について、月額家賃がいくらであれば入居（転居）を検討しますか。
該当する項目にチェックをして下さい。（ワンルーム標準タイプ（バストイレ付）で新築又は築年数5年以内の新しい物件の場合）』

35,000円以内が23.8%(135人)、35,000円～40,000円であれば検討するが23.1%(131人)という回答が多かった。昨年度の結果に比較し、35,000円以内が若干増加している。

選択項目	回答数	構成比
35,000円以内	135	23.8%
35,000円～40,000円	131	23.1%
40,000円～45,000円	93	16.4%
45,000円～50,000円	38	6.7%
50,000円～55,000円	8	1.4%
55,000円以上	1	0.2%
金額に関係なく検討しない	115	20.3%
無回答	46	8.1%
計	567	100.0%

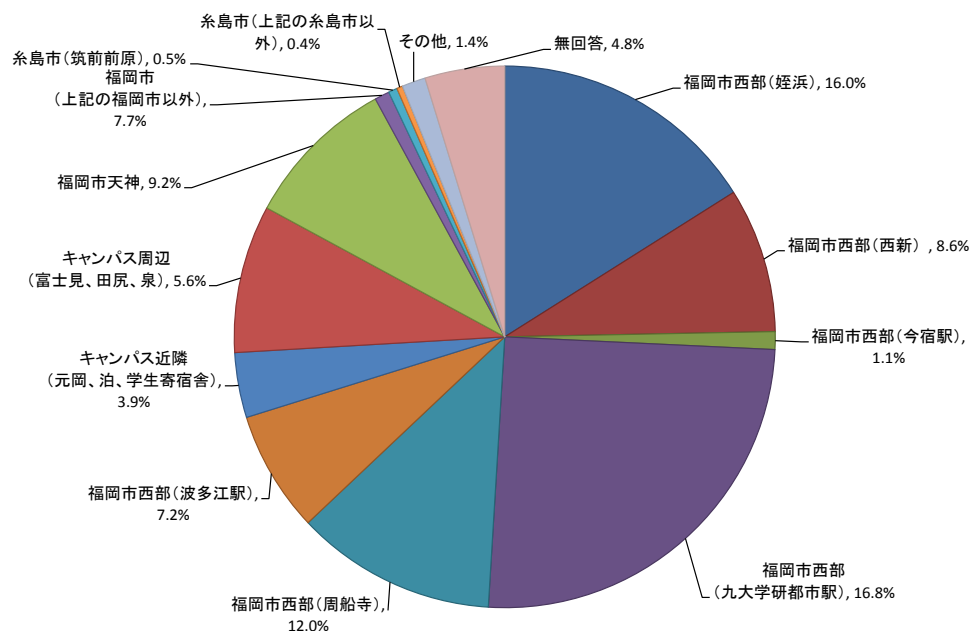


29. 転居希望エリア

『すべての方にお尋ねします。転居に要する費用や手間は無視する場合、あなたは新たに転居するとしたらどのエリアに居住したいですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

福岡市西部（九大学研都市駅周辺）が 25.2%（143 人）と最も多く、ついで福岡市西部（姪浜）が 16.0%（91 人）である。昨年度と似た傾向を示している。

選択項目	回答数	構成比
福岡市西部(姪浜)	91	16.0%
福岡市西部(西新)	49	8.6%
福岡市西部(今宿駅)	6	1.1%
福岡市西部(九大学研都市駅)	143	25.2%
福岡市西部(周船寺)	68	12.0%
福岡市西部(波多江駅)	41	7.2%
キャンパス近隣(元岡、泊、学生寄宿舍)	22	3.9%
キャンパス周辺(富士見、田尻、泉)	50	8.8%
福岡市天神	52	9.2%
福岡市(上記の福岡市以外)	5	0.9%
糸島市(筑前前原駅周辺)	3	0.5%
糸島市(上記の糸島市以外)	2	0.4%
その他	8	1.4%
無回答	27	4.8%
計	567	100.0%

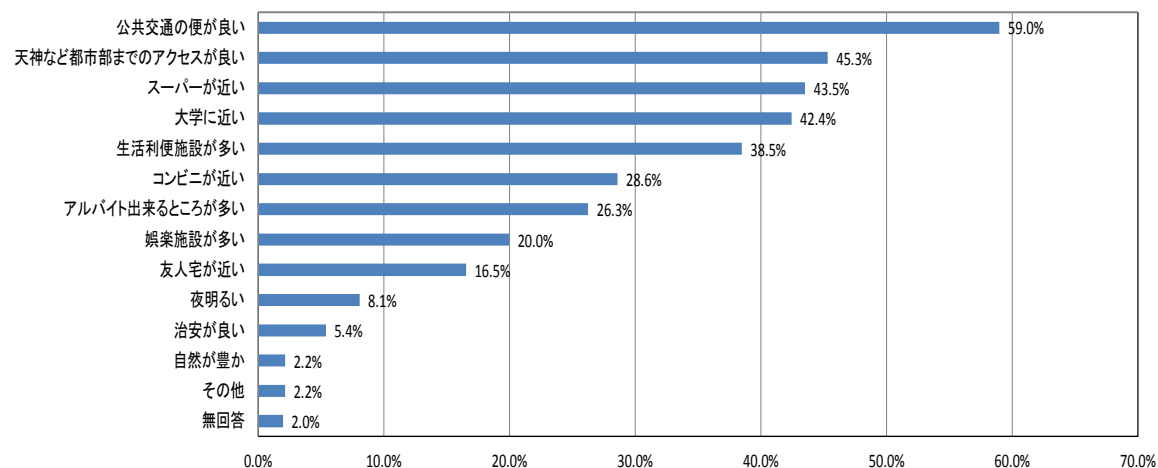


30. 転居希望エリアの理由

『問29について、なぜその場所を選びましたか。該当する項目にチェックをして下さい。
(複数選択可)』

「公共交通の便が良い」が最も多く 59.0% (328 人) であった。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
公共交通の便が良い	328	59.0%
天神など都市部までのアクセスが良い	252	45.3%
スーパーが近い	242	43.5%
大学に近い	236	42.4%
生活利便施設が多い	214	38.5%
コンビニが近い	159	28.6%
アルバイト出来るところが多い	146	26.3%
娯楽施設が多い	111	20.0%
友人宅が近い	92	16.5%
夜明るい	45	8.1%
治安が良い	30	5.4%
自然が豊か	12	2.2%
その他	12	2.2%
無回答	11	2.0%



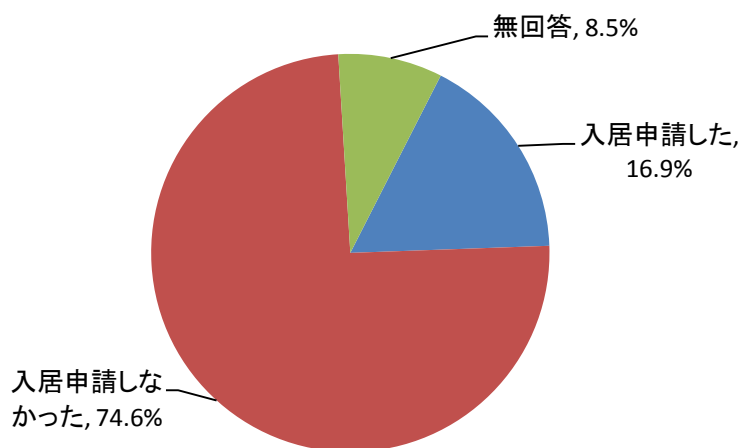
〈学生寄宿舍について〉

3 1. ドミトリーへの入居申請の有無

『ドミトリーに入居を申請しましたか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「入居を申請した」が 16.9%（96 人）、「入居を申請しなかった」が 74.6%（423 人）である。

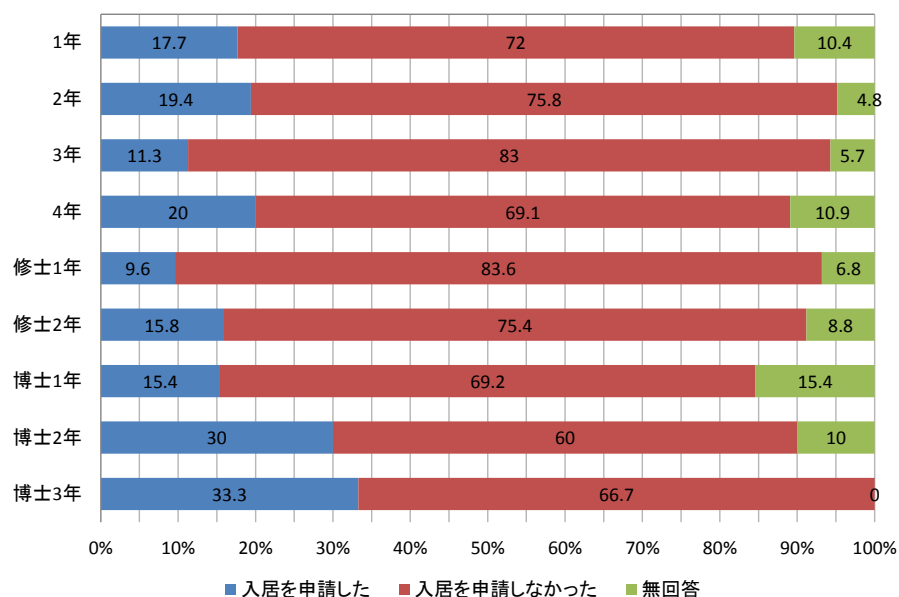
選択項目	回答数	構成比
入居を申請した	96	16.9%
入居を申請しなかった	423	74.6%
無回答	48	8.5%
計	567	100.0%



31-1. 学年とのクロス集計

入居を希望している学部生は4年生が20%（11人）と最も高く、昨年度と比較すると1年生の入居申請の割合が減少している。一方、修士と博士課程に着目すると、昨年度と同様に学年が上がるにつれて、入居の希望割合も増加する傾向にある。

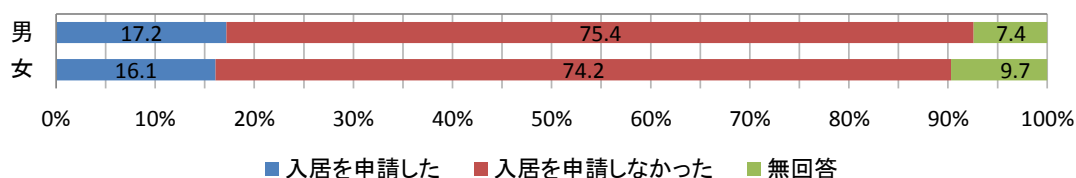
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
1年	29 17.7%	118 72.0%	17 10.4%	164 100.0%
2年	24 19.4%	94 75.8%	6 4.8%	124 100.0%
3年	6 11.3%	44 83.0%	3 5.7%	53 100.0%
4年	11 20.0%	38 69.1%	6 10.9%	55 100.0%
修士1年	7 9.6%	61 83.6%	5 6.8%	73 100.0%
修士2年	9 15.8%	43 75.4%	5 8.8%	57 100.0%
博士1年	2 15.4%	9 69.2%	2 15.4%	13 100.0%
博士2年	3 30.0%	6 60.0%	1 10.0%	10 100.0%
博士3年	4 33.3%	8 66.7%	0 0.0%	12 100.0%
研究生等	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
無回答	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	4 100.0%
計	96	423	48	567



31-2. 性別とのクロス集計

入居申請について、性別による違いはあまり見られない。

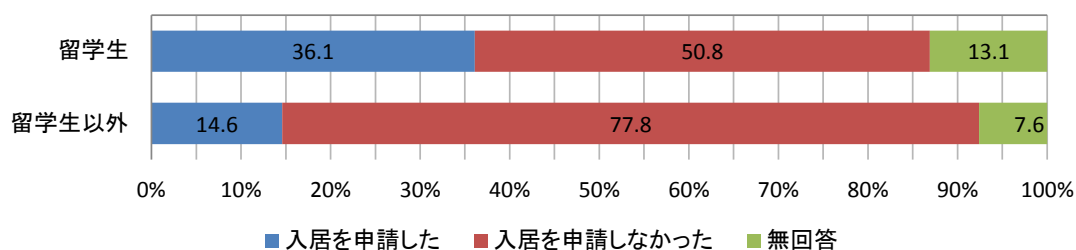
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
男	65 17.2%	285 75.4%	28 7.4%	378 100.0%
女	30 16.1%	138 74.2%	18 9.7%	186 100.0%
無回答	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	3 100.0%
計	96	423	48	567



31-3. 留学生とのクロス集計

入居を希望した留学生は 36%（22 人）と留学生以外よりも割合が高かった。

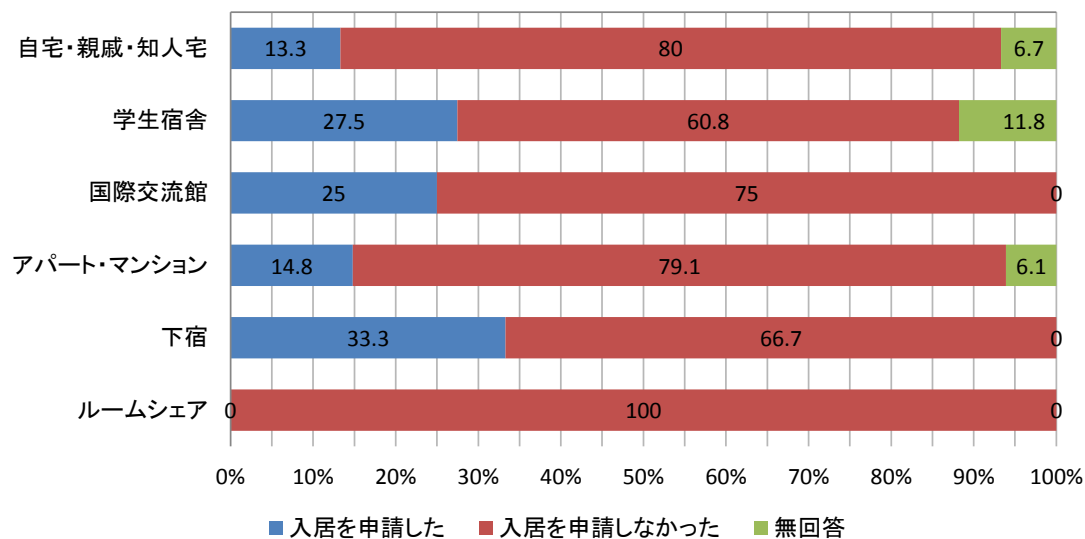
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
留学生	22 36.1%	31 50.8%	8 13.1%	61 100.0%
留学生以外	73 14.6%	389 77.8%	38 7.6%	500 100.0%
無回答	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	6 100.0%
計	96	423	48	567



31-4. 現在の居住形態とのクロス集計

現在、「アパート・マンション」に入居している者のうち、ドミトリーへの入居を申請した者は15%（34人）であった。昨年度と同様の結果となった。

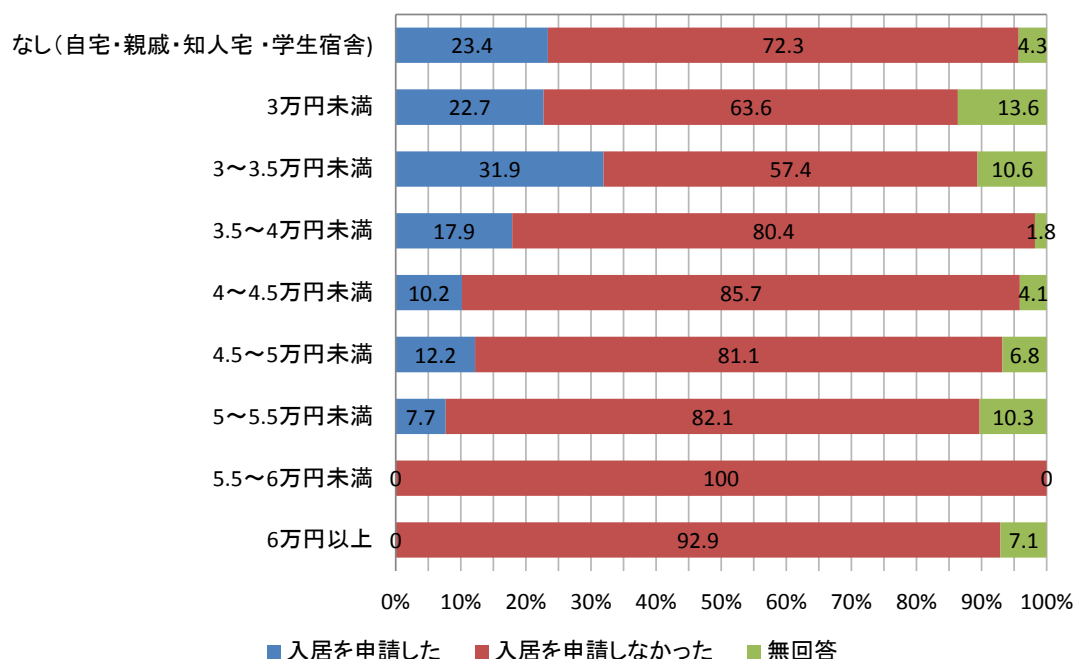
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
自宅・親戚・知人宅	2 13.3%	12 80.0%	1 6.7%	15 100.0%
学生宿舎	14 27.5%	31 60.8%	6 11.8%	51 100.0%
国際交流館	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%
アパート・マンション	34 14.8%	182 79.1%	14 6.1%	230 100.0%
下宿	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
ルームシェア	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
その他	0	0	0	0
無回答	44 16.9%	189 72.7%	27 10.4%	260 100.0%
計	96	423	48	567



31-5. 住居の部屋代とのクロス集計

家賃が3万円未満の学生で、入居を申請したのは23%（5人）であった。昨年度の結果と比較すると、その割合は大きく減少している。

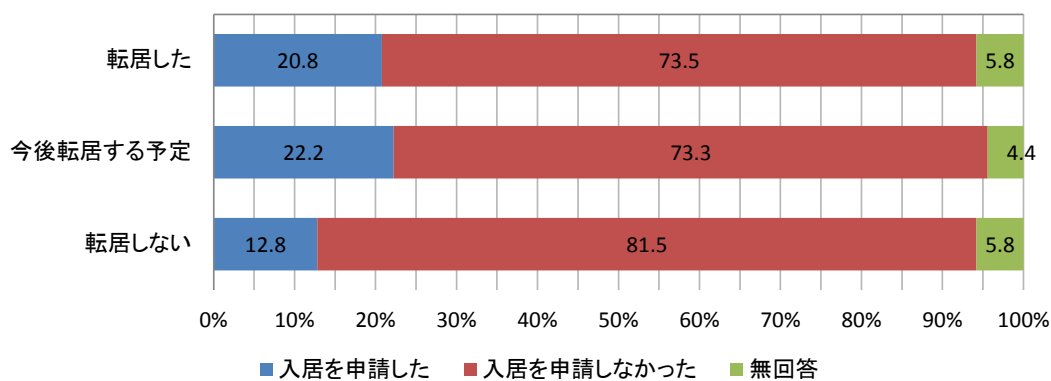
	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
なし(自宅・親戚・知人宅・学生宿)	43 23.4%	133 72.3%	8 4.3%	184 100.0%
3万円未満	5 22.7%	14 63.6%	3 13.6%	22 100.0%
3～3.5万円未満	15 31.9%	27 57.4%	5 10.6%	47 100.0%
3.5～4万円未満	10 17.9%	45 80.4%	1 1.8%	56 100.0%
4～4.5万円未満	10 10.2%	84 85.7%	4 4.1%	98 100.0%
4.5～5万円未満	9 12.2%	60 81.1%	5 6.8%	74 100.0%
5～5.5万円未満	3 7.7%	32 82.1%	4 10.3%	39 100.0%
5.5～6万円未満	0 0.0%	14 100.0%	0 0.0%	14 100.0%
6万円以上	0 0.0%	13 92.9%	1 7.1%	14 100.0%
無回答	1 5.3%	1 5.3%	17 89.5%	19 100.0%
計	96	423	48	567



31-6. 転居希望者とのクロス集計

転居したと答えた者の 21%（54 人）が入居を希望した。昨年度の結果と比較すると、その割合は減少している。

	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答	計
転居した	54 20.8%	191 73.5%	15 5.8%	260 100.0%
今後転居する予定	10 22.2%	33 73.3%	2 4.4%	45 100.0%
転居しない	31 12.8%	198 81.5%	14 5.8%	243 100.0%
無回答	1 5.3%	1 5.3%	17 89.5%	19 100.0%
計	96	423	48	567

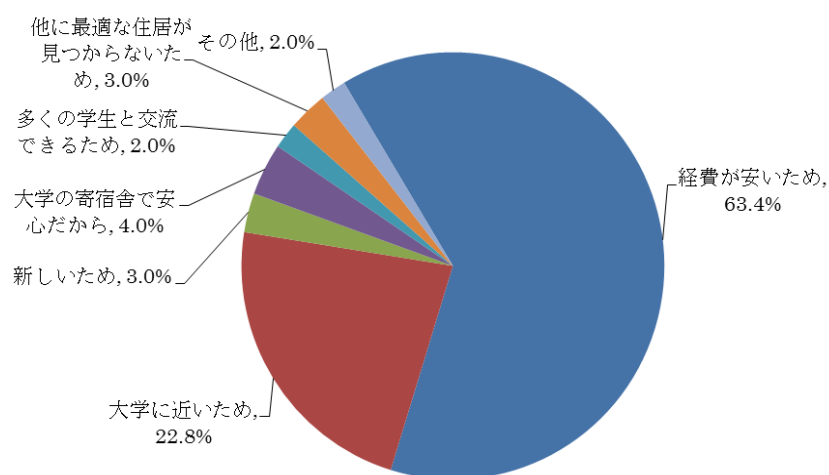


32. 入居を申請した理由(問31で「入居を申請した」を選択した方のみ)

『問31でドミトリーに『入居を申請した』を選択した方にお尋ねします。入居を申請した理由について、該当する項目に一つだけチェックをして下さい。』

「経費が安い」が63.4% (64人) と最も多く、ついで「大学に近い」が22.8% (23人) である。昨年度と比較すると「大学の寄宿舍で安心だから」が増加している。

選択項目	回答数	回答者(93人)に対する割合
経費が安い	64	63.4%
大学に近い	23	22.8%
新しい	3	3.0%
大学の寄宿舍で安心だから	4	4.0%
多くの学生と交流できる	2	2.0%
他に最適な住居が見つからない	3	3.0%
その他	2	2.0%

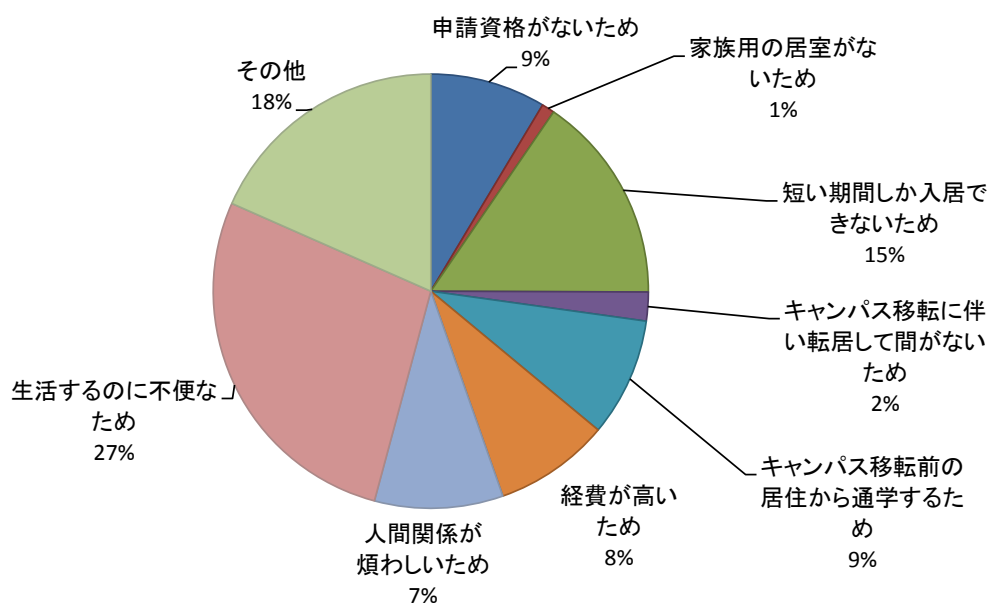


33. 入居を申請しなかった理由(問31で「入居を申請しなかった」を選択した方のみ)

『問31でドミトリーに『入居を申請しなかった』を選択した方にお尋ねします。入居を申請しなかった（できなかった）理由について、該当する項目にチェックをして下さい。』

「生活するのに不便なため」が 27.4%（115 人）と最も高く、ついで「短い期間しか入居できないため」が 15.5%（65 人）である。本年度の結果は昨年度とほぼ変わらない。

選択項目	回答数	回答者(419人)に対する割合
申請資格がないため	36	8.6%
家族用の居室がないため	4	1.0%
短い期間しか入居できないため	65	15.5%
キャンパス移転に伴い転居して間がないため	9	2.1%
キャンパス移転前の居住から通学するため	37	8.8%
経費が高いため	36	8.6%
人間関係が煩わしいため	40	9.5%
生活するのに不便なため	115	27.4%
その他	77	18.4%



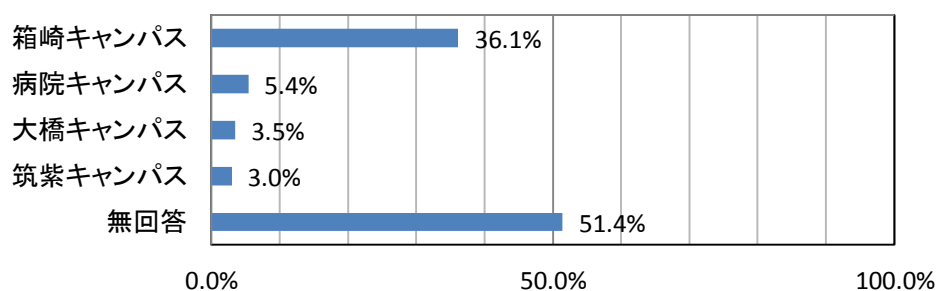
〈キャンパスでの生活について〉

34. 伊都キャンパス以外で授業を受けているキャンパス(複数回答)

『伊都キャンパス以外で授業を受けているのは、どのキャンパスですか。該当する項目にチェックをして下さい(複数回答可)。』

無回答が 51.4% (293 人) であり、伊都キャンパス以外のキャンパスで授業を受けていない学生が最も多いと思われる。無回答以外では箱崎キャンパスが 36.1% (206 人) と多い。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
箱崎キャンパス	206	36.1%
病院キャンパス	31	5.4%
大橋キャンパス	20	3.5%
筑紫キャンパス	17	3.0%
無回答	293	51.4%

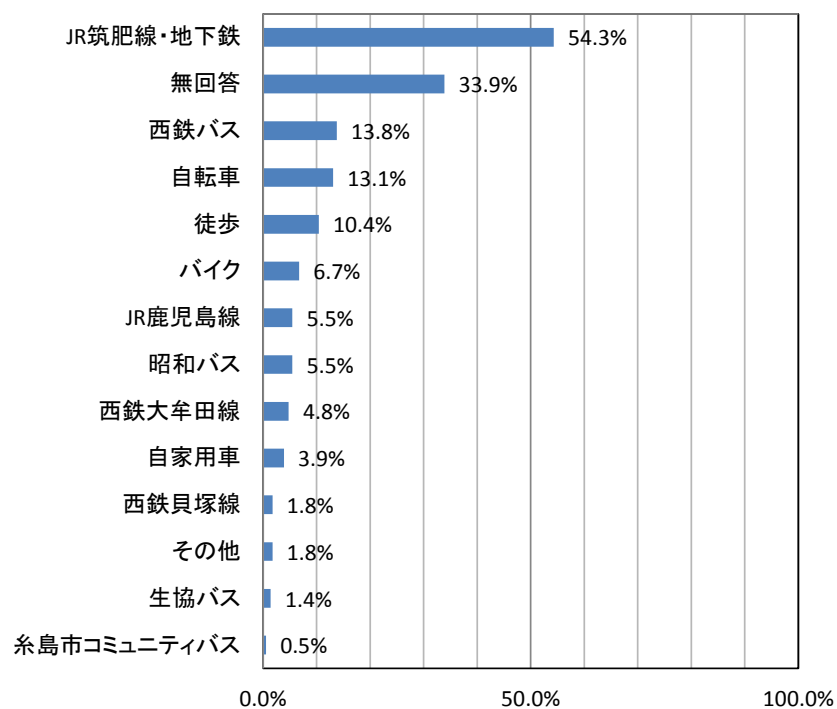


35. 伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法(複数回答)

『伊都キャンパス以外のキャンパスへの主な交通手段は何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。(複数回答可)』

無回答を除き JR 筑肥線・地下鉄が最も多く 54.3% (308 人)、ついで西鉄バス 13.8% (78 人)、自転車 13.1% (74 人) であった。昨年度に比べ JR 筑肥線・地下鉄の割合が大きく増加している。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
JR筑肥線・地下鉄	308	54.3%
西鉄バス	78	13.8%
自転車	74	13.1%
徒歩	59	10.4%
バイク	38	6.7%
JR鹿児島線	31	5.5%
昭和バス	31	5.5%
西鉄大牟田線	27	4.8%
自家用車	22	3.9%
西鉄貝塚線	10	1.8%
その他	10	1.8%
生協バス	8	1.4%
糸島市コミュニティバス	3	0.5%
その他鉄道	2	0.4%
無回答	192	33.9%

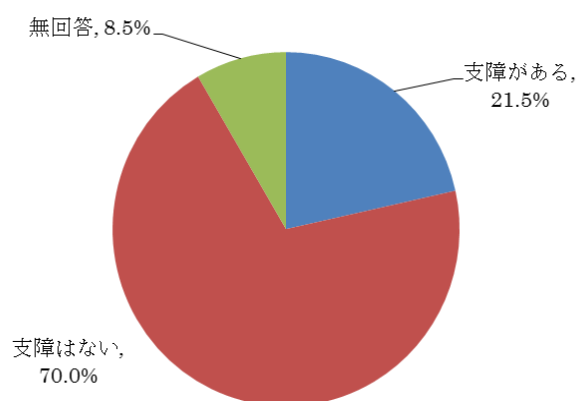


36. 自動車入構の有料化に伴う生活への影響

『伊都キャンパス構内への自動車での入構が有料になりましたが、生活に支障がありますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「生活に支障がある」は 21.5%（12 人）で、「支障はない」は 70.0%（397 人）である。

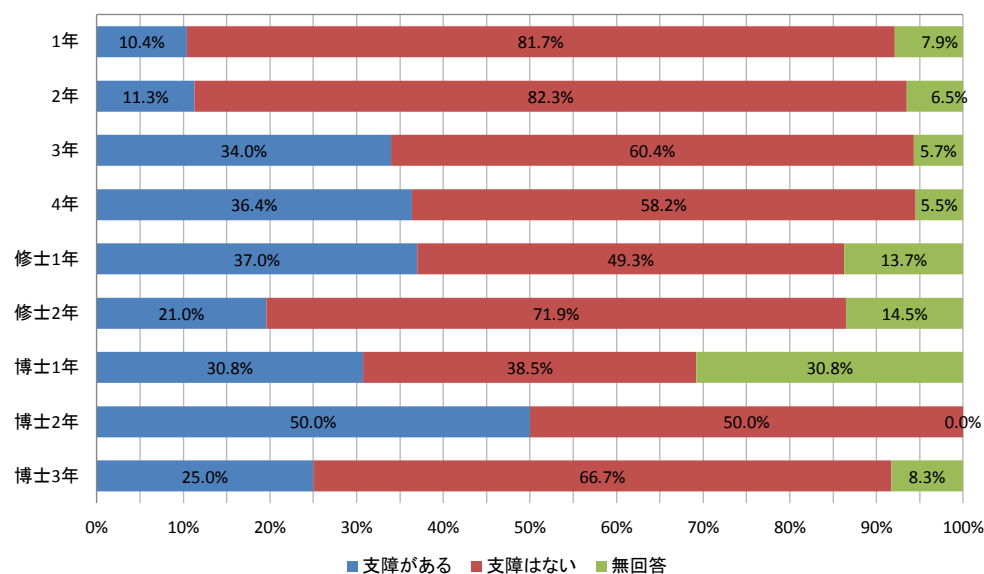
選択項目	回答数	構成比
支障がある	122	21.5%
支障はない	397	70.0%
無回答	48	8.5%
計	567	100.0%



36-1. 学年とのクロス集計

「生活に支障がない」と答えた割合が最も高いのは、学部1年生で81.7%（134人）である。一方、「支障がある」と答えた割合は学年が上がるにつれ増加傾向にあり、博士課程の学生においてその値は高い。

	支障がある	支障はない	無回答	計
1年	17 10.4%	134 81.7%	13 7.9%	164 100.0%
2年	14 11.3%	102 82.3%	8 6.5%	124 100.0%
3年	18 34.0%	32 60.4%	3 5.7%	53 100.0%
4年	20 36.4%	32 58.2%	3 5.5%	55 100.0%
修士1年	27 37.0%	36 49.3%	10 13.7%	73 100.0%
修士2年	12 21.1%	41 71.9%	4 7.0%	57 100.0%
博士1年	4 30.8%	5 38.5%	4 30.8%	13 100.0%
博士2年	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%	10 100.0%
博士3年	3 25.0%	8 66.7%	1 8.3%	12 100.0%
研究生等	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
無回答	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	4 100.0%
計	122	396	49	567

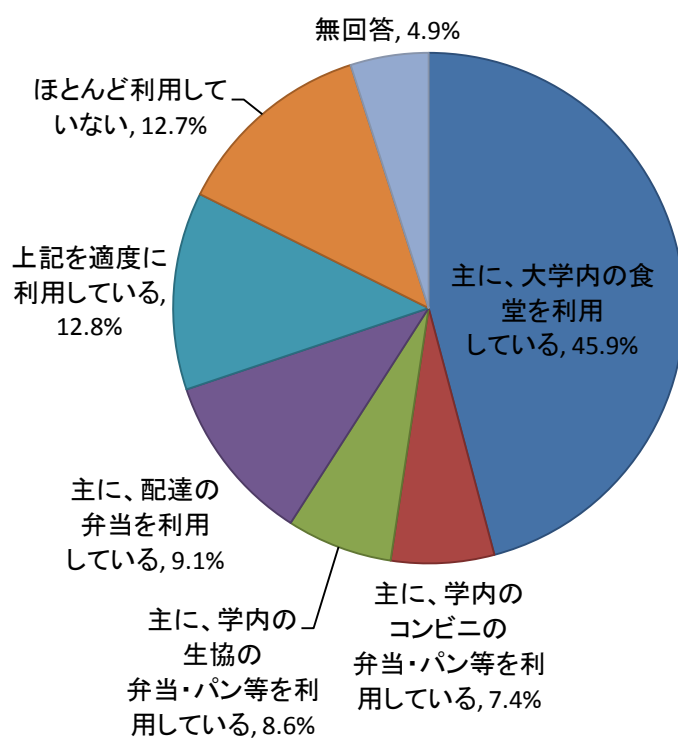


37. 伊都キャンパスでの食事

『伊都キャンパスでの食事は、どのようにしていますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「主に大学内の食堂を利用している」が 45.9%（260 人）と最も多く、ついで「上記を適度に利用している」が 12.5%（71 人）である。前年度の結果と比較すると、「主に食堂を利用している」が 7.9%減少している。

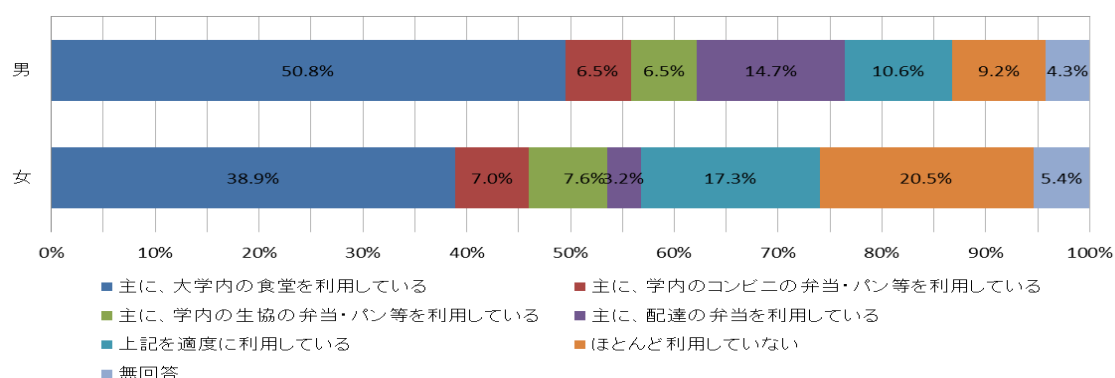
選択項目	回答数	構成比
主に、大学内の食堂を利用している	260	45.9%
主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	37	6.5%
主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	38	6.7%
主に、配達の弁当を利用している	61	10.8%
上記を適度に利用している	71	12.5%
ほとんど利用していない	72	12.7%
無回答	28	4.9%
計	567	100.0%



37-1. 性別とのクロス集計

男女別でみると、「主に大学内の食堂を利用している」と答えた男性は 50.8%（187 人）、女性は 38.9%（72 人）である。前年度の結果と比較すると、主に食堂を利用している男性は 8.3%減少している。

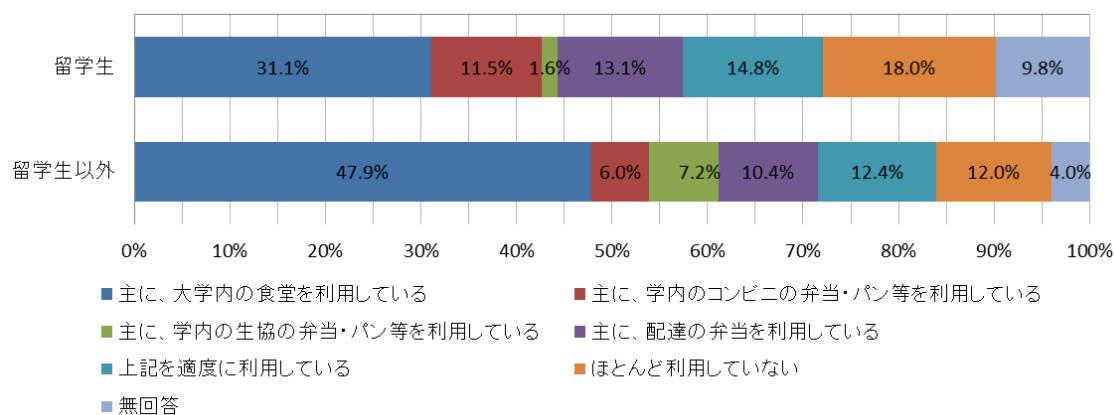
	主に、大学内の食堂を利用している	主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	主に、配達の弁当を利用している	上記を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答	計
男	187 50.8%	24 6.5%	24 6.5%	54 14.7%	39 10.6%	34 9.2%	16 4.3%	378
女	72 38.9%	13 7.0%	14 7.6%	6 3.2%	32 17.3%	38 20.5%	10 5.4%	185
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 66.7%	4
計	259	37	38	61	71	72	29	567



37-2. 留学生とのクロス集計

「主に大学内の食堂を利用している」と答えた留学生の割合は留学生以外と比較して少なく、昨年度と比較しても 10.3%減少している。

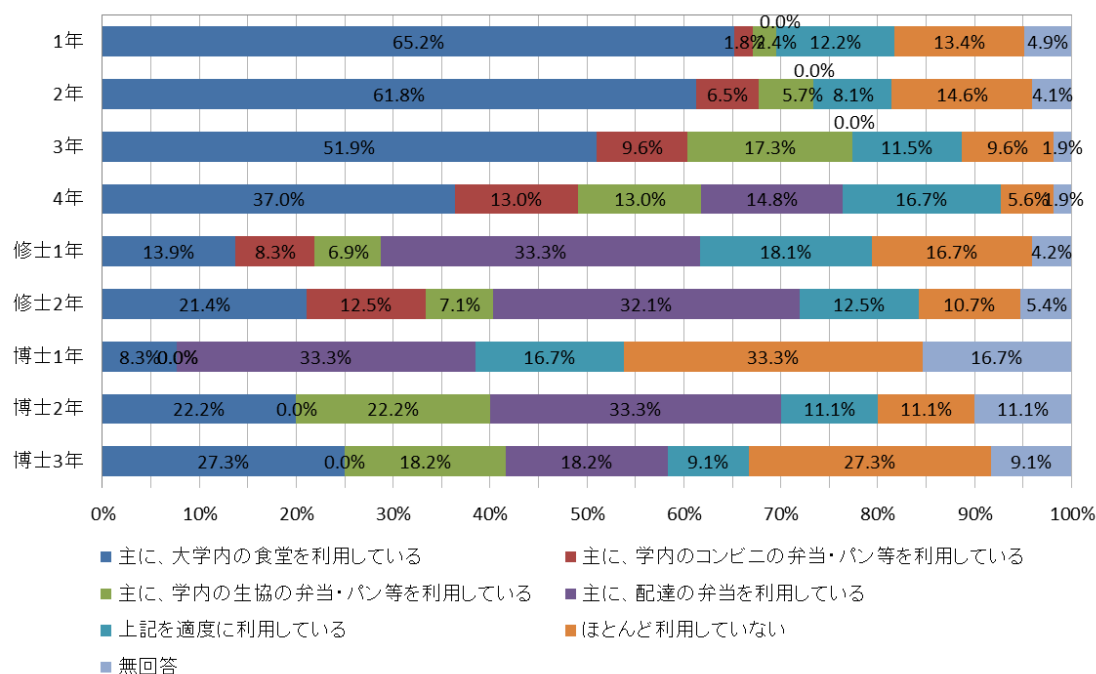
	主に、大学内の食堂を利用している	主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	主に、配達の弁当を利用している	上記を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答	計
留学生	19 31.1%	7 11.5%	1 1.6%	8 13.1%	9 14.8%	11 18.0%	6 9.8%	61
留学生以外	239 47.9%	30 6.0%	36 7.2%	52 10.4%	62 12.4%	60 12.0%	20 4.0%	499
無回答	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	7
計	260	37	37	60	71	72	30	567



37-3. 学年とのクロス集計

学年別でみると、「主に大学内の食堂を利用している」者の割合は、学部1年生が65.2%（107人）と最も高く、学年が上がるにつれて「上記を適度に利用している」、「主に宅配の弁当を利用している」の割合が増加する。

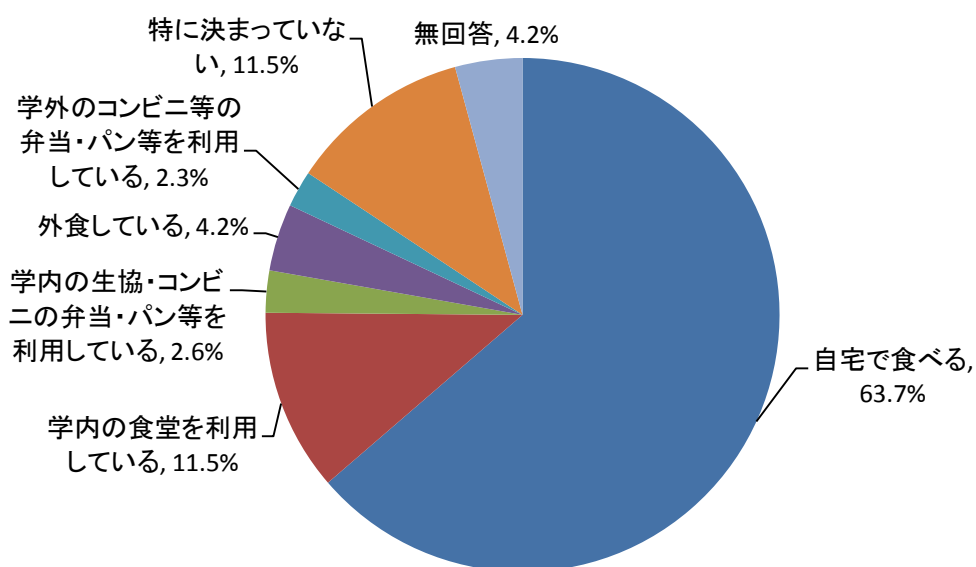
	主に、大学内の食堂を利用している	主に、学内のコンビニの弁当・パン等を利用している	主に、学内の生協の弁当・パン等を利用している	主に、配達ของ弁当を利用している	上記を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答	計
1年	107 65.2%	3 1.8%	4 2.4%	0 0.0%	20 12.2%	22 13.4%	8 4.9%	164 100.0%
2年	76 61.8%	8 6.5%	7 5.7%	0 0.0%	10 8.1%	18 14.6%	5 4.1%	124 100.0%
3年	27 51.9%	5 9.6%	9 17.3%	0 0.0%	6 11.5%	5 9.6%	1 1.9%	53 100.0%
4年	20 37.0%	7 13.0%	7 13.0%	8 14.8%	9 16.7%	3 5.6%	1 1.9%	55 100.0%
修士1年	10 13.9%	6 8.3%	5 6.9%	24 33.3%	13 18.1%	12 16.7%	3 4.2%	73 100.0%
修士2年	12 21.4%	7 12.5%	4 7.1%	18 32.1%	7 12.5%	6 10.7%	3 5.4%	57 100.0%
博士1年	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	2 16.7%	4 33.3%	2 16.7%	13 100.0%
博士2年	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	10 100.0%
博士3年	3 27.3%	0 0.0%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	12 100.0%
研究生等	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
無回答	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	4 100.0%
計	259	36	40	60	70	74	28	567



38. 夕食の方法

『あなたは夕食を主にどのようにしていますか。該当する項目にチェックをして下さい。』
「自宅で食べる」と答えた学生は 63.7%（361 人）で最も多く、ついで「学内の食堂」と
「特に決まっていない」が 11.5%（65 人）である。昨年度と比較すると学内の食堂を利用
する学生の割合が 2.6%減少している。

選択項目	回答数	構成比
自宅で食べる	361	63.7%
学内の食堂を利用している	65	11.5%
学内の生協・コンビニの弁当・パン等を利用している	15	2.6%
外食している	24	4.2%
学外のコンビニ等の弁当・パン等を利用している	13	2.3%
特に決まっていない	65	11.5%
無回答	24	4.2%
計	567	100.0%

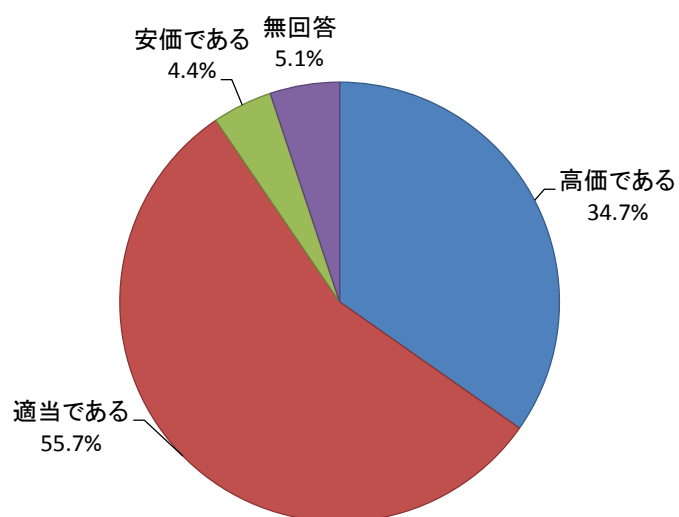


39. 食事の価格について

『食事の価格はどうですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

適当が 55.7%（316 人）、高価が 34.7%（197 人）、安価が 4.4%（25 人）であり、昨年度より適当の割合が減少している。

選択項目	回答数	構成比
高価である	197	34.7%
適当である	316	55.7%
安価である	25	4.4%
無回答	29	5.1%
計	567	100.0%

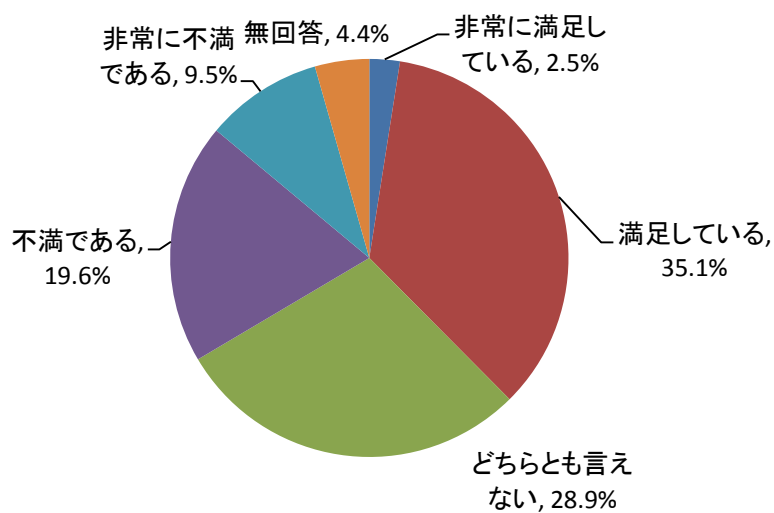


40. 伊都キャンパスでの生活の満足度

『伊都キャンパスでの生活に満足していますか。該当する項目にチェックをして下さい。
(特記すべき理由がありましたら、自由記述欄にご記入下さい。)]

「非常に満足している」「満足している」の合計は 37.6% (213 人) と多い。また、「不満である」と回答した学生は 19.6%(111 人)となっている。

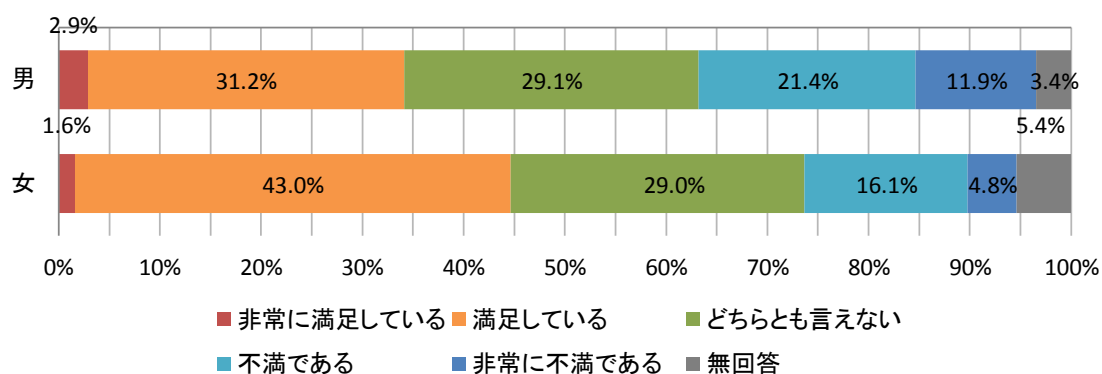
選択項目	回答数	構成比
非常に満足している	14	2.5%
満足している	199	35.1%
どちらとも言えない	164	28.9%
不満である	111	19.6%
非常に不満である	54	9.5%
無回答	25	4.4%
計	567	100.0%



40-1. 性別とのクロス集計

「満足している」と答えた割合は女性の方が男性よりも 11.8%高い。しかし、「非常に不満である」、「不満である」と回答した者は男性が多い。

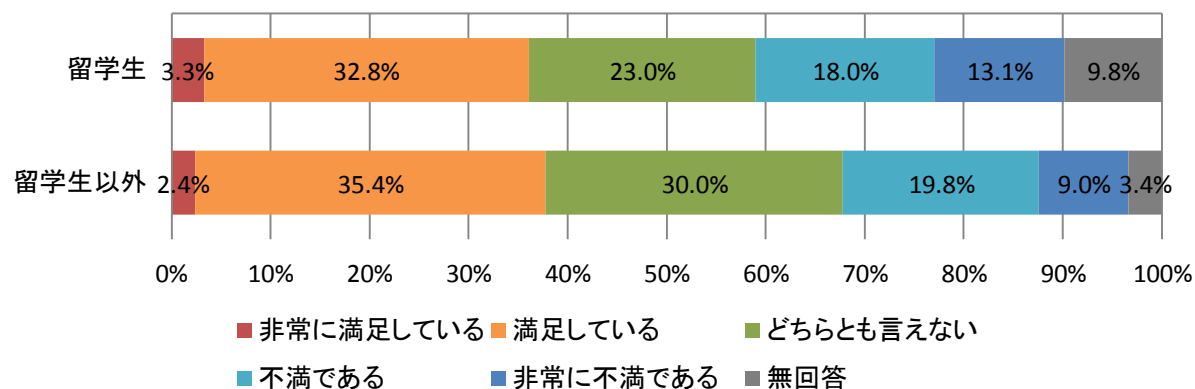
	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答	計
男	11 2.9%	118 31.2%	110 29.1%	81 21.4%	45 11.9%	13 3.4%	378
女	3 1.6%	80 43.0%	54 29.0%	30 16.1%	9 4.8%	10 5.4%	186
無回答	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	3
計	14	199	164	111	54	25	567



40-2. 留学生とのクロス集計

留学生の「非常に不満である」「不満である」の合計は 31.1%と昨年より大幅に減少している。留学生と留学生以外ではそこまで大きな差異はみられない。

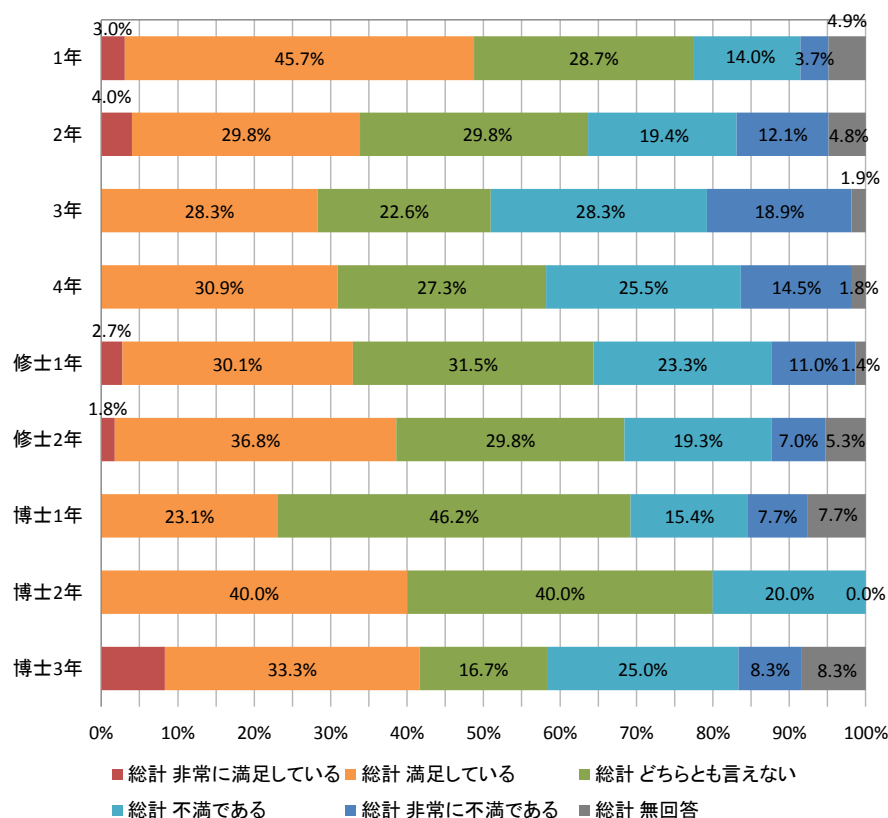
	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答	計
留学生	2 3.3%	20 32.8%	14 23.0%	11 18.0%	8 13.1%	6 9.8%	61
留学生以外	12 2.4%	177 35.4%	150 30.0%	99 19.8%	45 9.0%	17 3.4%	500
無回答	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 66.7%	6
計	14	198	164	111	55	25	567



40-3. 学年とのクロス集計

1年生の「満足している」割合は45.7%(75人)と他の学年と比較しても高いことがわかる。学部生では、学年が上がると不満の割合が大きくなる傾向がある。

	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答	計
1年	5 3.0%	75 45.7%	47 28.7%	23 14.0%	6 3.7%	8 4.9%	164 100.0%
2年	5 4.0%	37 29.8%	37 29.8%	24 19.4%	15 12.1%	6 4.8%	124 100.0%
3年	0 0.0%	15 28.3%	12 22.6%	15 28.3%	10 18.9%	1 1.9%	53 100.0%
4年	0 0.0%	17 30.9%	15 27.3%	14 25.5%	8 14.5%	1 1.8%	55 100.0%
修士1年	2 2.7%	22 30.1%	23 31.5%	17 23.3%	8 11.0%	1 1.4%	73 100.0%
修士2年	1 1.8%	21 36.8%	17 29.8%	11 19.3%	4 7.0%	3 5.3%	57 100.0%
博士1年	0 0.0%	3 23.1%	6 46.2%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%
博士2年	0 0.0%	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
博士3年	1 8.3%	4 33.3%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%	12 100.0%
研究生等	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	4 100.0%
計	14	199	164	111	54	25	567

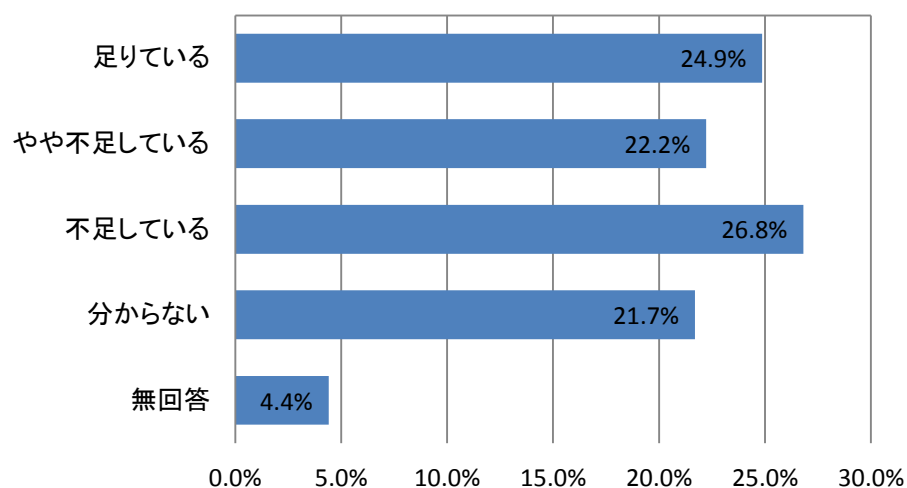


41. 伊都キャンパス内に気軽に運動できる場所があるか

『伊都キャンパスに、授業の合間などに気軽に身体を動かせる場所が足りていると思いますか。』

「足りている」の割合は 24.9%（141 人）であるが、「やや不足している」「不足している」の割合の計は 49.0%（278 人）と多く、不足を感じている人の方が多いことが分かる。

選択項目	回答数	回答者全体位に対する割合
足りている	141	24.9%
やや不足している	126	22.2%
不足している	152	26.8%
分からない	123	21.7%
無回答	25	4.4%

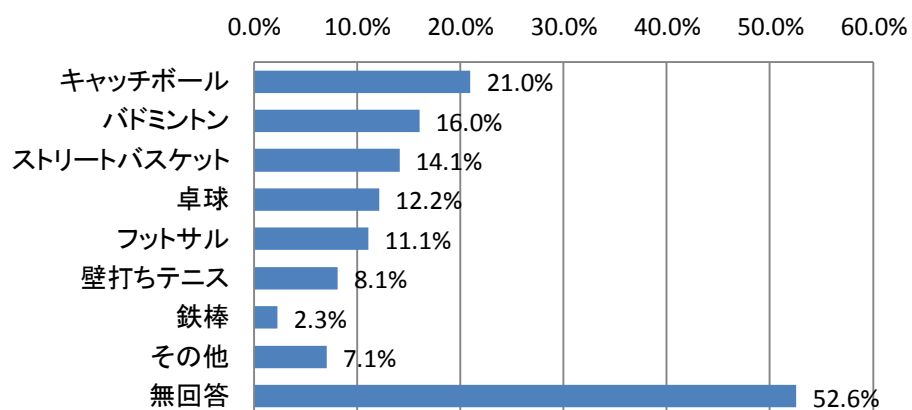


4 2. 伊都キャンパスに必要な活動(複数回答可)

『問41で「不足している」または「やや不足している」と回答した方へ。どのような活動ができるといいと思いますか。(複数選択可)』

最も回答が多かったのがキャッチボールの21%(119人)であった。次にバドミントンが16%(91人)と高く、屋外で気軽にできる運動空間が必要であると考えられる。

選択項目	回答数	回答者全体位に対する割合
キャッチボール	119	21.0%
バドミントン	91	16.0%
ストリートバスケット	80	14.1%
卓球	69	12.2%
フットサル	63	11.1%
壁打ちテニス	46	8.1%
鉄棒	13	2.3%
その他	40	7.1%
無回答	298	52.6%

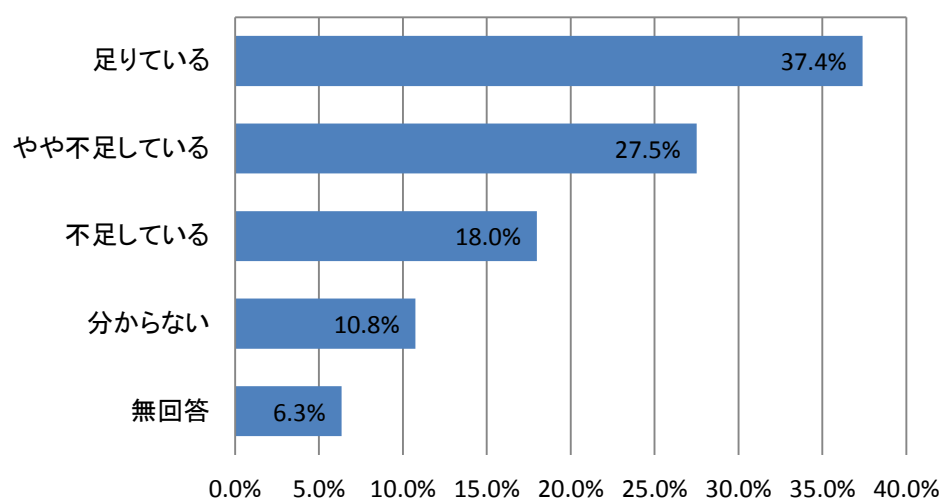


43. 伊都キャンパス内に談笑できる場所があるか

『伊都キャンパスに、授業の合間などに休憩したり友人達と談笑する場所が足りていると思いますか。』

「足りている」の割合は 37.4%（212 人）と多いが、「やや不足している」「不足している」の割合の計 45.5%（258 人）も多く、不足を感じている人も多いことが分かる。

選択項目	回答数	回答者全体位に対する割合
足りている	212	37.4%
やや不足している	156	27.5%
不足している	102	18.0%
分からない	61	10.8%
無回答	36	6.3%

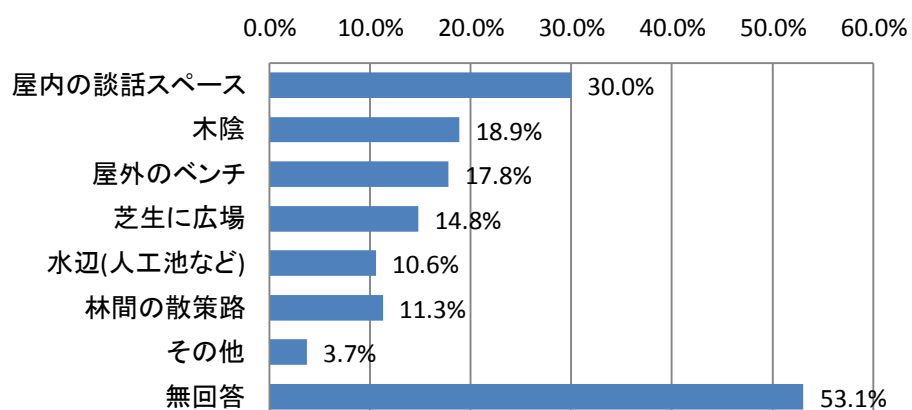


4 4. 伊都キャンパスに必要な場所(複数回答可)

『問43で「不足している」または「やや不足している」と回答した方へ。どのような場所が増えるといいと思いますか。(複数選択可)』

最も回答が多かったのが「屋内の談話スペース」で30%(170人)、次いで「木陰」と「屋外のベンチ」の回答が多かった。

選択項目	回答数	回答者全体位に対する割合
屋内の談話スペース	170	30.0%
木陰	107	18.9%
屋外のベンチ	101	17.8%
芝生に広場	84	14.8%
水辺(人工池など)	60	10.6%
林間の散策路	64	11.3%
その他	21	3.7%
無回答	301	53.1%

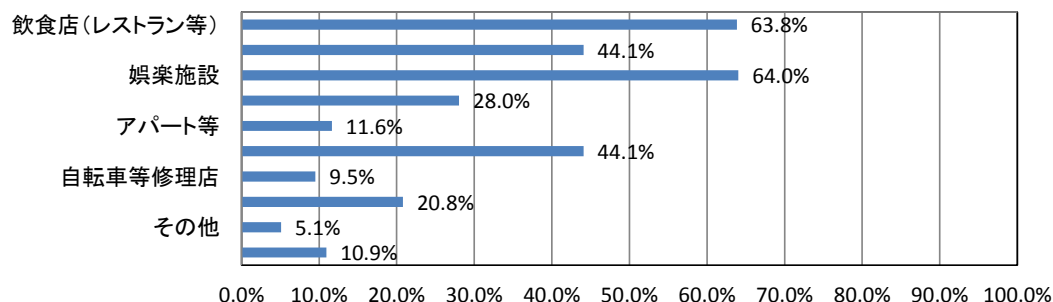


45. 伊都キャンパス周辺に必要な施設(複数回答)

『伊都キャンパス周辺に必要と思われる施設は何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。(複数選択可)(特記すべき理由がありましたら、自由記述欄にご記入下さい。)]

「娯楽施設」が64.0%(363人)と最も多く、ついで「飲食店(レストラン等)」が63.8%(362人)、「コンビニ・スーパー」(44.1%、250人)、「病院・薬局」(44.1%、250人)である。昨年度と比較すると「娯楽施設」の割合が大きく増加している。

選択項目	回答数	回答者全体位 に対する割合
飲食店(レストラン等)	362	63.8%
コンビニ・スーパー	250	44.1%
娯楽施設	363	64.0%
書店	159	28.0%
アパート等	66	11.6%
病院・薬局	250	44.1%
自転車等修理店	54	9.5%
クリーニング店	118	20.8%
その他	29	5.1%
無回答	62	10.9%

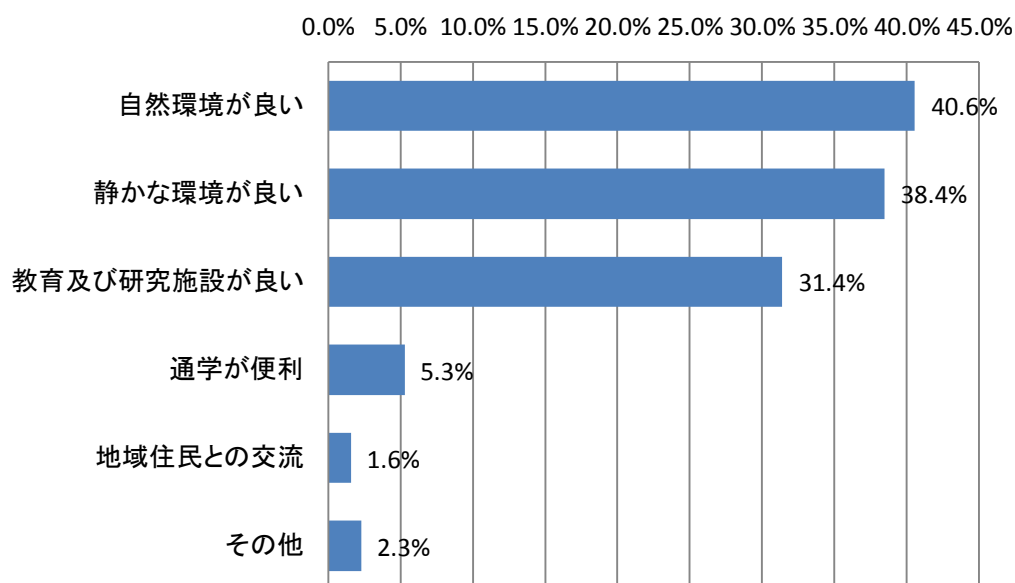


46. 伊都キャンパスに移転して良かったこと(複数回答)

『伊都キャンパスへ移転して良かったと思うことは何ですか。該当する項目にチェックをして下さい。(複数選択可)(特記すべき理由がありましたら、自由記述欄にご記入下さい。)』

「自然環境が良い」が 40.6% (230 人)、「静かな環境が良い」が 38.4%(218 人)、「教育及び研究施設が良い」が 31.4% (178 人)であり、昨年度の結果と大きな差異はなかった。一方、その他で「ない」という回答もみられた。

選択項目	回答数	回答者全体に対する割合
自然環境が良い	230	40.6%
静かな環境が良い	218	38.4%
教育及び研究施設が良い	178	31.4%
通学が便利	30	5.3%
地域住民との交流	9	1.6%
その他	13	2.3%



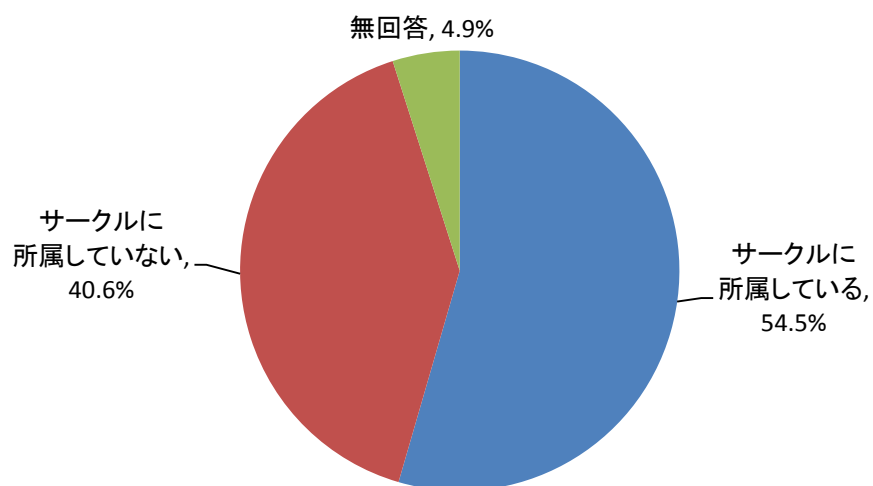
〈放課後の生活について〉

47. サークルへの所属

『あなたはサークルに所属していますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

サークルに所属する学生の割合は 54%（309 人）、所属しない学生の割合は 41%（230 人）である。

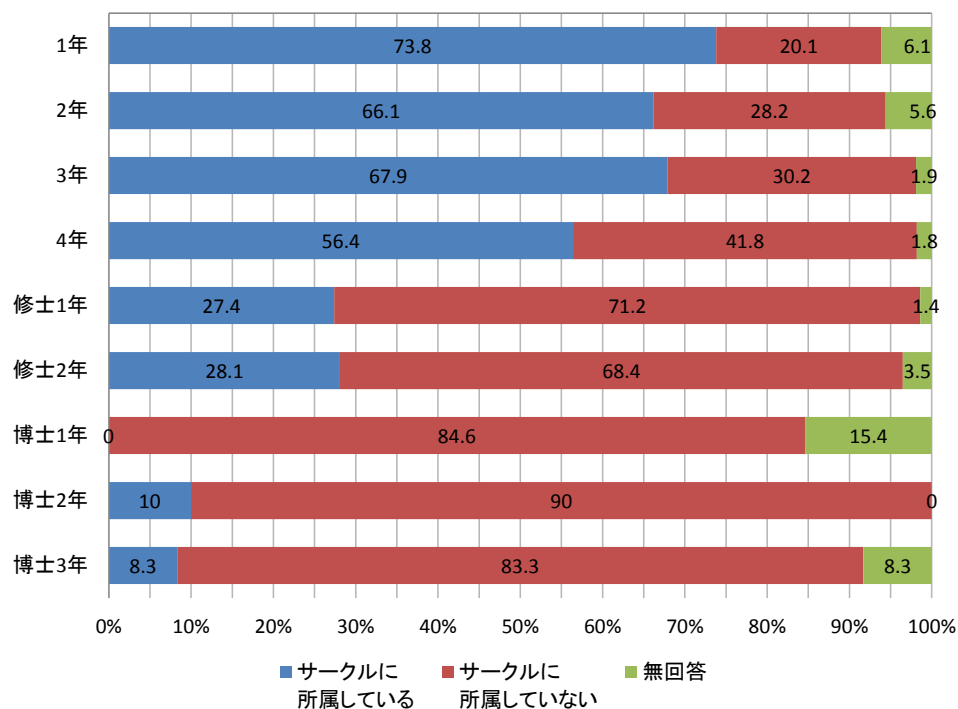
選択項目	回答数	構成比
サークルに所属している	309	54.5%
サークルに所属していない	230	40.6%
無回答	28	4.9%
計	567	100.0%



47-1. 学年とのクロス集計

サークルに所属する学生の割合は、学部1年生が74.0%で最も高い。高学年になるほど割合は減少している。

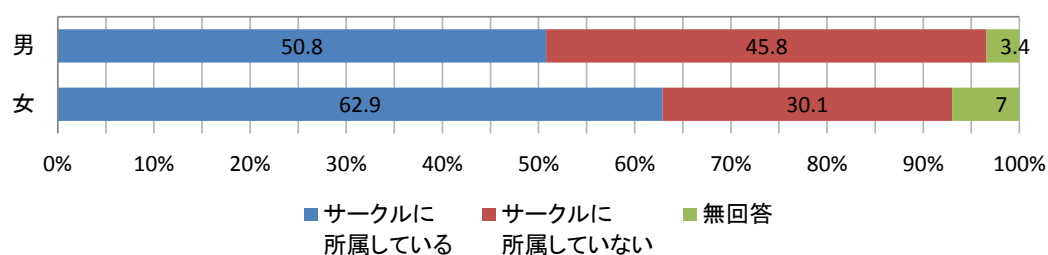
	サークルに 所属している	サークルに 所属していな い	無回答	計
1年	121 74%	33 20%	10 6%	164 100%
2年	82 66%	35 28%	7 6%	124 100%
3年	36 68%	16 30%	1 2%	53 100%
4年	31 56%	23 42%	1 2%	55 100%
修士1年	20 27%	52 71%	1 1%	73 100%
修士2年	16 28%	39 68%	2 4%	57 100%
博士1年	0 0%	11 85%	2 15%	13 100%
博士2年	1 10%	9 90%	0 0%	10 100%
博士3年	1 8%	10 83%	1 8%	12 100%
研究生等	0 0%	2 100%	0 0%	2 100%
無回答	1 25%	0 0%	3 75%	4 100%
計	309	230	28	567



47-2. 性別とのクロス集計

女性の方が男性よりもサークルに所属している割合は高い。

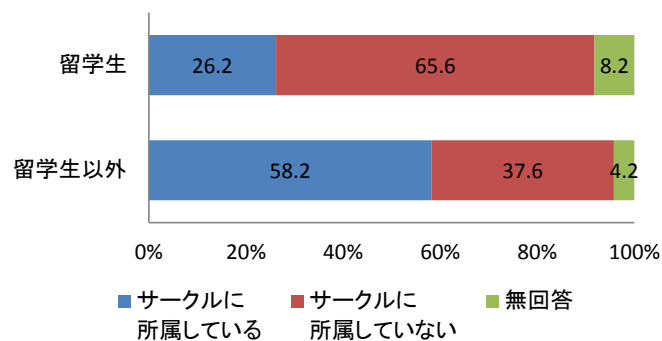
	サークルに 所属している	サークルに 所属していない	無回答	計
男	192 51%	173 46%	13 3%	378 100%
女	117 63%	56 30%	13 7%	186 100%
無回答	0 0%	1 33%	2 67%	3 100%
計	309	230	28	567



47-3. 留学生とのクロス集計

留学生はサークルに所属している割合が 26%（16 人）と、留学生以外よりも低い。

	サークルに 所属している	サークルに 所属していない	無回答	計
留学生	291 58%	188 38%	21 4%	500 100%
留学生以外	16 26%	40 66%	5 8%	61 100%
無回答	2 33%	2 33%	2 33%	6 100%
計	309	230	28	567

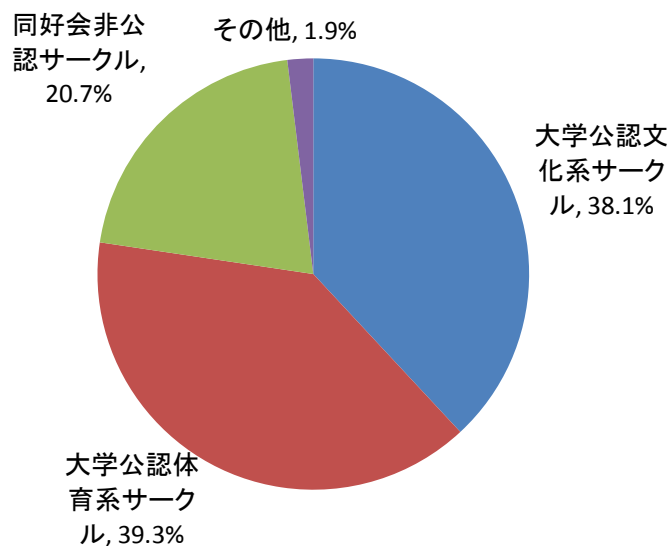


48. 所属するサークルの区分(問46で「サークルに所属している」を選択した方のみ)

『問47でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。どのようなサークルですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

大学公認文化系サークルが 38.1% (158 人) で最も多く、大学公認体育系サークルが 39.3% (163 人) である。昨年度と比較すると、大学公認体育系サークルが大きく増加し、大学公認文化系サークルが減少している。

選択項目	回答数	回答者(415人) に対する割合
大学公認文化系サークル	158	38.1%
大学公認体育系サークル	163	39.3%
同好会非公認サークル	86	20.7%
その他	8	1.9%

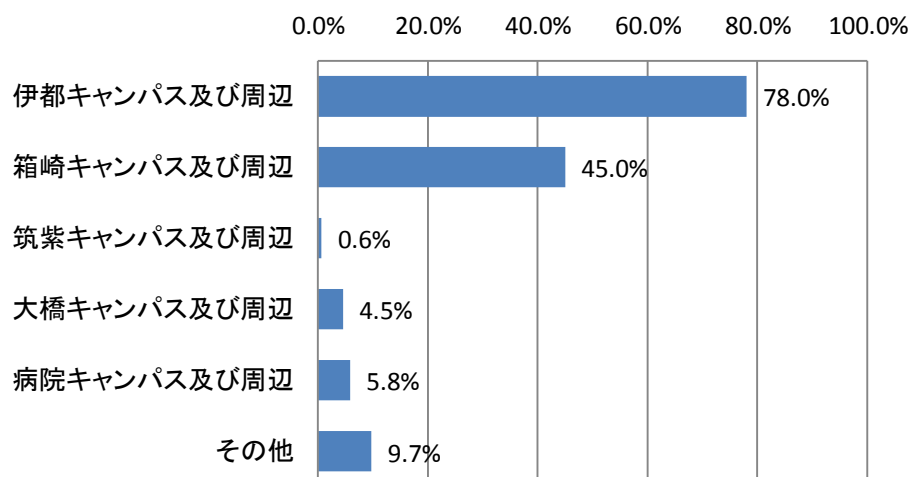


49. サークルの活動場所（問47で「サークルに所属している」を選択した方のみ）

『問47でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。サークル活動の活動場所について、該当する項目にチェックをして下さい。（複数選択可）』

伊都キャンパス周辺が 78.0%（241 人）と最も高く、ついで箱崎キャンパスが 45.0%（139 人）である。昨年度と比較すると、伊都キャンパス周辺が増加し、箱崎キャンパス周辺が岩礁している。

選択項目	回答数	回答者(309人)に対する割合
伊都キャンパス及び周辺	241	78.0%
箱崎キャンパス及び周辺	139	45.0%
筑紫キャンパス及び周辺	2	0.6%
大橋キャンパス及び周辺	14	4.5%
病院キャンパス及び周辺	18	5.8%
その他	30	9.7%

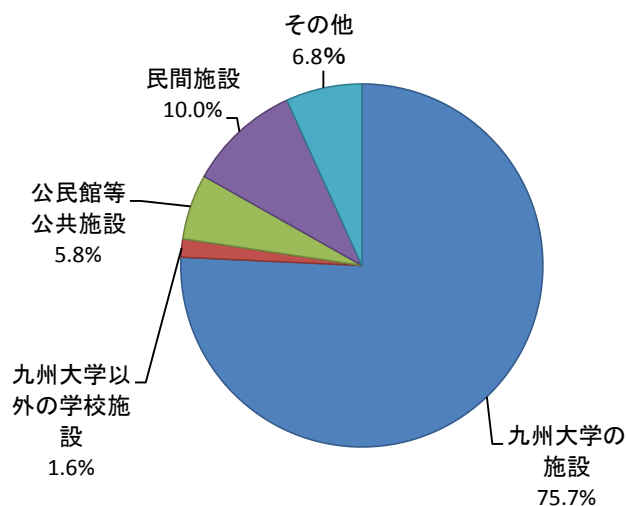


50. サークルの活動施設（問46で「サークルに所属している」を選択した方のみ）

『問47でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。サークル活動の活動施設について、該当する項目にチェックをして下さい。』

九州大学の施設が 75.7%（234 人）と最も多いが、昨年度と比較すると減少している。

選択項目	回答数	回答者(309人)に対する割合
九州大学の施設	234	75.7%
九州大学以外の学校施設	5	1.6%
公民館等公共施設	18	5.8%
民間施設	31	10.0%
その他	21	6.8%

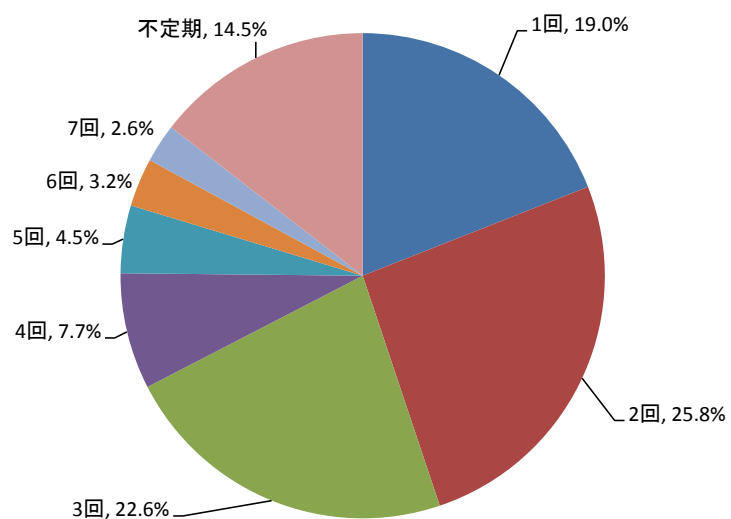


51. サークルの活動頻度（問47で「サークルに所属している」を選択した方のみ）

『問47でサークルに『所属している』を選択された方にお尋ねします。部活・サークル活動はだいたい週に何回ですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

週2回が 25.8%（80 人）と最も多く、ついで週3回が 22.6%（70 人）である。

選択項目	回答数	回答者(310人) に対する割合
1回	59	19.0%
2回	80	25.8%
3回	70	22.6%
4回	24	7.7%
5回	14	4.5%
6回	10	3.2%
7回	8	2.6%
不定期	45	14.5%

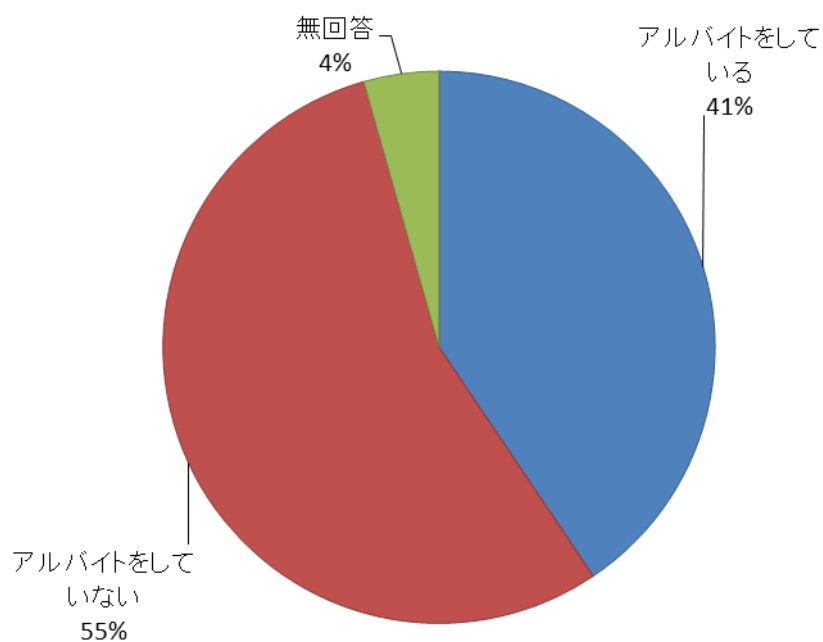


52. アルバイトの有無

『アルバイトをしていますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

アルバイトをしている学生は 40.6% (230 人)、アルバイトをしていない学生は 55.0% (312 人) である。その割合は、ほぼ同じだが若干アルバイトをしていない学生の割合が増えている。

選択項目	回答数	構成比
アルバイトをしている	230	40.6%
アルバイトをしていない	312	55.0%
無回答	25	4.4%
計	567	100.0%

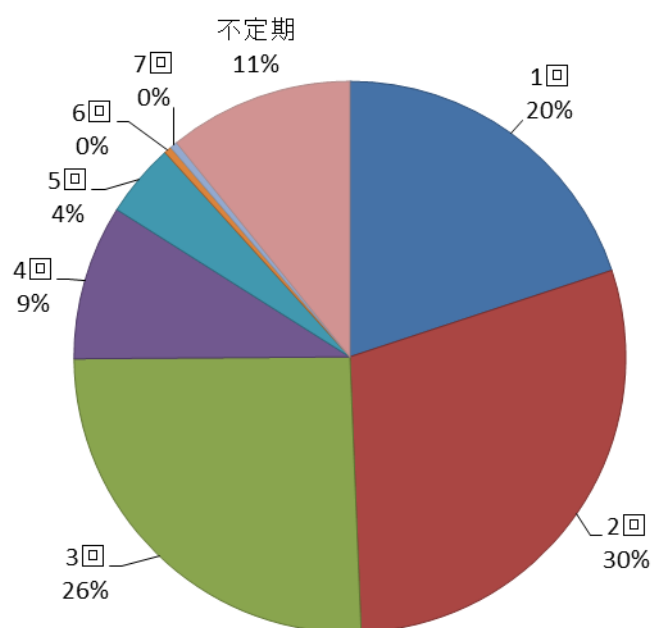


53. アルバイトの頻度（問52で「アルバイトをしている」を選択した方のみ）

『問52で『アルバイトをしている』を選択された方にお尋ねします。アルバイトはだいたい週に何回ですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

アルバイトの回数は、週に2回（29.4%、68人）と週に3回（25.5%、59人）が多い。その割合は、昨年度とほぼ同じである。

選択項目	回答数	回答者(231人)に対する割合
1回	46	19.9%
2回	68	29.4%
3回	59	25.5%
4回	21	9.1%
5回	10	4.3%
6回	1	0.4%
7回	1	0.4%
不定期	25	10.8%



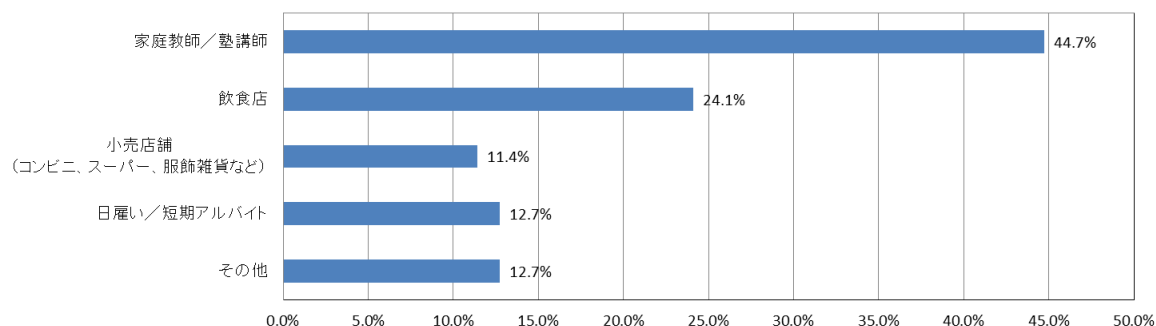
54. アルバイトの種類

(複数回答, 問52で「アルバイトをしている」を選択した方のみ)

『問52で『アルバイトをしている』を選択された方にお尋ねします。あなたのアルバイトの種類について、該当する項目にチェックをして下さい。(複数選択可)』

家庭教師や塾講師が 44.7% (102 人) と最も多く、ついで飲食店が 24.1% (55 人) であった。昨年度は小売店舗 (コンビニ、スーパー、服飾雑貨など) の割合が 2 番目に高かったが、今年は飲食店のアルバイトの割合が増えている。

選択項目	回答数	回答者(228人)に対する割合
家庭教師／塾講師	102	44.7%
飲食店	55	24.1%
小売店舗 (コンビニ、スーパー、服飾雑貨など)	26	11.4%
日雇い／短期アルバイト	29	12.7%
その他	29	12.7%



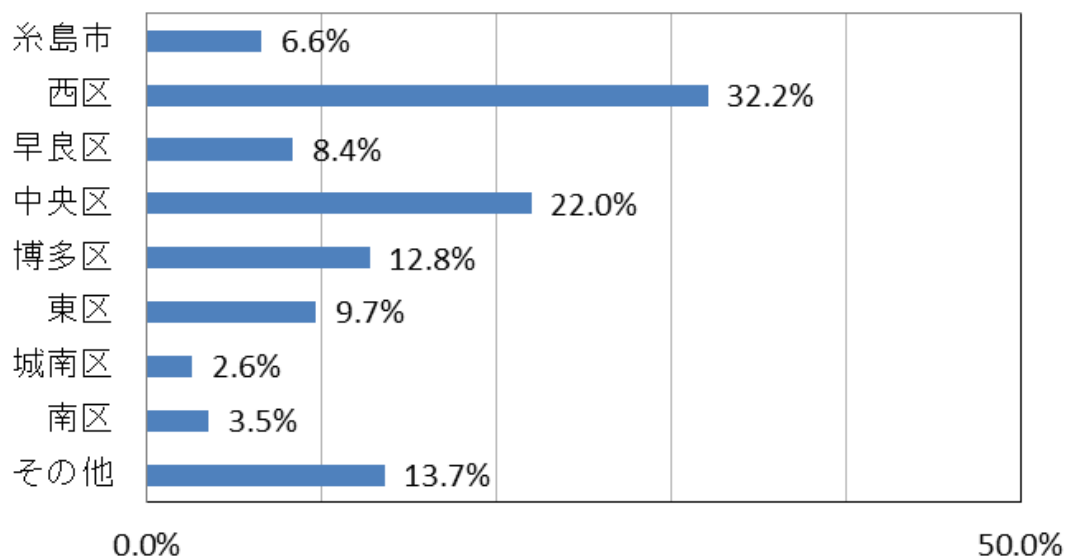
55. アルバイトの場所

(複数回答, 問52で「アルバイトをしている」を選択した方のみ)

『問52で『アルバイトをしている』を選択された方にお尋ねします。アルバイトをしている場所はどこですか。該当する項目にチェックをし、アルバイト先が西区、又は、糸島市の方は町名まで記入して下さい。【町名例：姪浜、周船寺、波多江北など】』

西区が 32.2% (73 人) と最も多く、ついで中央区が 22.0% (50 人) である。昨年度と比較すると、西区、中央区への集中傾向がみられる。

選択項目	回答数	回答者(227人)に対する割合
糸島市	15	6.6%
西区	73	32.2%
早良区	19	8.4%
中央区	50	22.0%
博多区	29	12.8%
東区	22	9.7%
城南区	6	2.6%
南区	8	3.5%
その他	31	13.7%

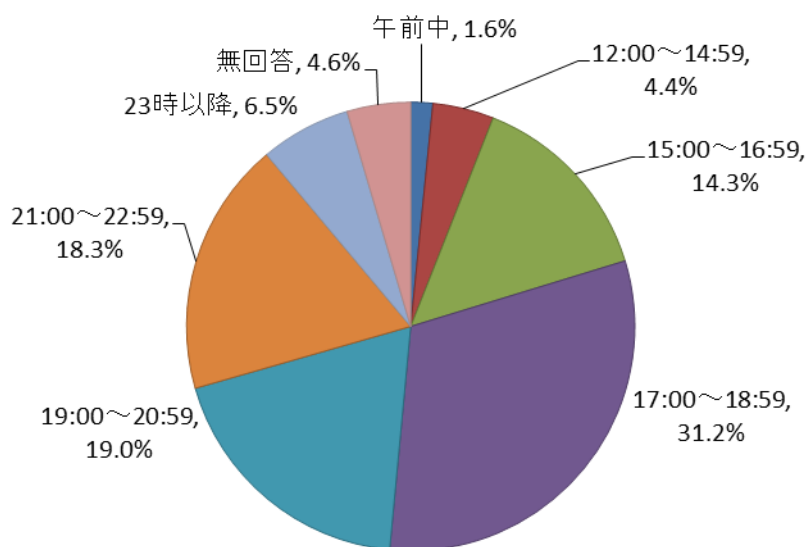


56. 主な下校時間

『あなたが一週間のうち最も多く下校する時間について、該当する項目にチェックをして下さい。』

17：00～18：59 が 31.2%（177 人）と最も多く、ついで 19：00～20：59 が 19.0%（108 人）であった。昨年度に比べ、19：00～22：59 の帰宅者の割合が増えている。

選択項目	回答数	構成比
午前中	9	1.6%
12:00～14:59	25	4.4%
15:00～16:59	81	14.3%
17:00～18:59	177	31.2%
19:00～20:59	108	19.0%
21:00～22:59	104	18.3%
23時以降	37	6.5%
無回答	26	4.6%
計	567	100.0%



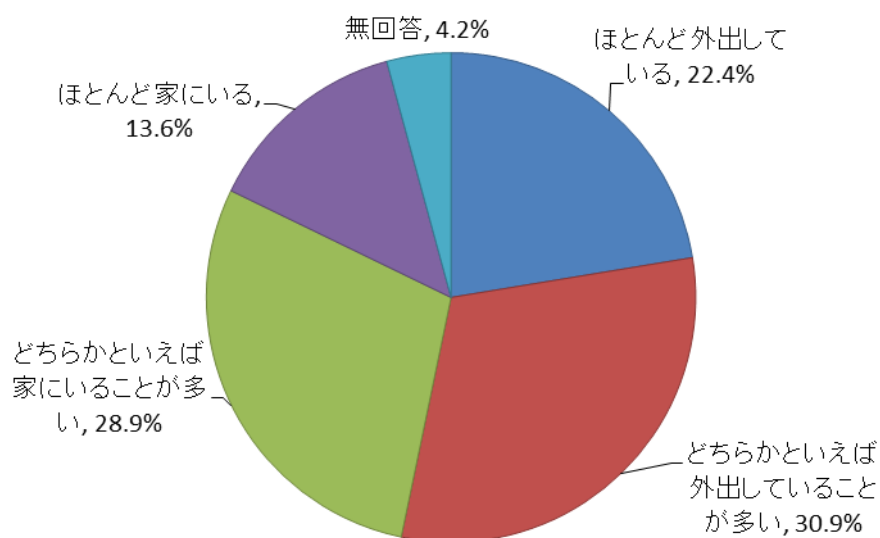
〈休日の活動について〉

57. 休日の外出頻度

『あなたは休日にどれくらい外出しますか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「どちらかといえば外出していることが多い」と「どちらかといえば家にいることが多い」がほぼ同数でそれぞれ 30.9%（175 人）、28.9%（164 人）であった。昨年度と比べ、大きな変化はない。

選択項目	回答数	構成比
ほとんど外出している	127	22.4%
どちらかといえば外出していることが多い	175	30.9%
どちらかといえば家にいることが多い	164	28.9%
ほとんど家にいる	77	13.6%
無回答	24	4.2%
計	567	100.0%

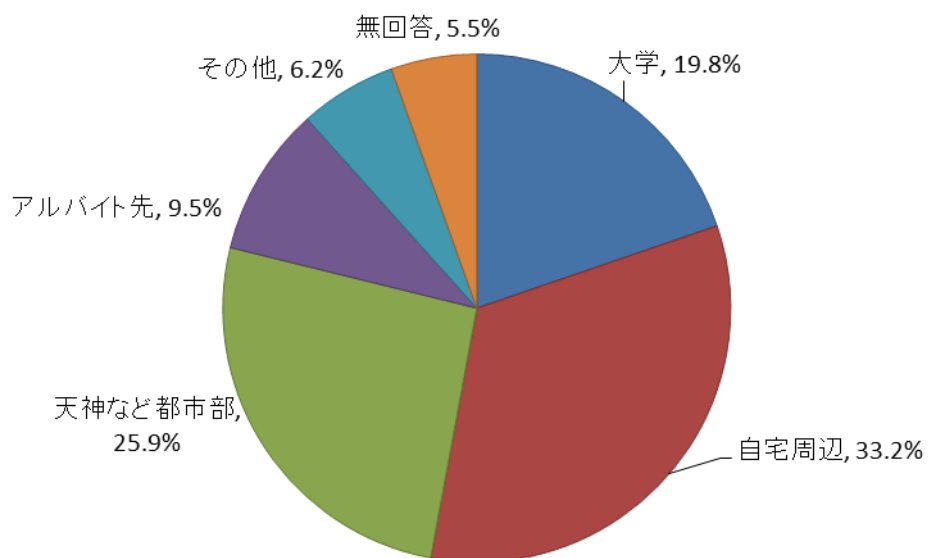


58. 休日の主な外出先

『あなたは休日にどこに外出することが最も多いですか。該当する項目にチェックをして下さい。』

「自宅周辺」が 33.2%（188 人）と最も多く、ついで「天神など都市部」が 25.9%（147 人）である。昨年度と同様の傾向が見られる。

選択項目	回答数	構成比
大学	112	19.8%
自宅周辺	188	33.2%
天神など都市部	147	25.9%
アルバイト先	54	9.5%
その他	35	6.2%
無回答	31	5.5%
計	567	100.0%



〈自由記述〉

『伊都キャンパスに関し、次の事項についてご意見等ありましたら、以下の欄に自由にご記入ください。』

自由記述の概要

1. 施設・建物に関して

キャンパスの施設・建物に関する意見では、キャンパスが綺麗、キャンパスに満足という意見がある一方で、移転スケジュールへの意見や現況の施設の問題が多く指摘されています。特に、雨・風の吹きさらし空間の改善へ要望、すでに建物が破損している、建物間の移動が不便、水はけの改善、冷暖房と節電についての意見、換気・風通しが良くない、騒音がひどいなど多くの意見がありました。一方、駐輪・駐車に関する要望として、バス停待ちスペースの拡大や環境改善、駐輪場の環境改善、駐輪場・駐車場の拡大、自動二輪用駐輪場の整備などがありました。

ご指摘のあった施設および駐輪・駐車等の課題については、新キャンパス計画専門委員会に設置している施設改善 PT および交通計画WGで検討し、法令の遵守をふまえ、必要な措置を講じます。このほか、九州大学学術研究都市推進機構が、行政、事業者、九州大学とともに、九大学研都市駅から伊都キャンパスまで直通の公共交通を含む長期、中期、短期にわたる交通の課題と対応を整理し、移転の各時点では着実に対応をはかるよう検討しています。また、多額の予算を伴うものについては、実施するまでの時間を要しており、皆さんにご迷惑をおかけしますが、引き続き実現に向けての努力を続けます。

2. キャンパス内の生活支援施設(食堂、売店等)に関して

生活支援施設全般では、ATM の充実、利用時間を拡大、運動施設の充実と開放が挙げられました。レストランについては、ビッグどらの経営のあり方に対する厳しい意見のほか、営業曜日・時間の拡大、レストランの食事を安く、食堂のメニュー充実、栄養バランスを考えてほしい、カフェ・喫茶店、また、スタバ、マクドナルド、ほっともっとなどのチェーン店を入れてほしい、食堂の混雑解消、席取りや長時間占有などのマナー問題などが課題としてあげられています。コンビニの営業時間拡大や新設、販売品目の充実と価格の値下げを望む意見や、天空広場の利用者のマナー改善、学生が気軽に談笑・仮眠・休憩できる施設がほしいという意見もみられました。

要望のあった施設については、学内および周辺地区において設置、誘致に向けた検討を行っています。商業施設については、立地するかどうかは、基本的に事業者各々の判断に寄るところが大きく、採算性が重要視されることをご理解ください。販売品目の充実や価格の値下げ等について、事業者と協議しています。2012 年 4 月には、センター地区で学生が運営するカルチャーカフェ伊都店が、九大新町では、バイク店、レストランが営業を開始しました。

3. 住居(学生寄宿舍、民間賃貸物件等)に関して

家賃が高い、安くしてほしいという意見や、大学周辺にスーパー等の充実を望む意見、ドミトリーの価格が割高であること、防音や害虫対策などの改善要望があげられています。また、入居可能者の判断理由の意味がわからない、という意見もありました。

キャンパス周辺には、もともと学生向けの住宅がなかったため、民間事業者が新築した住宅が多く、価格が高いことはご指摘の通りです。シェアハウスなどの低価格物件の供給を引き続き事業者へ要望していきます。ドミトリーに関するご意見についても課題として検討します。なお、ドミトリーの入居者については家計状況を基準に選考を行っています。

4. 課外活動、アルバイトに関して

課外活動については、課外活動のスペースの問題、施設の管理不行き届き、キャンパス間の移動やサークル終了後の帰宅の課題が挙げられました。一方、アルバイトに関しては、アルバイトに関する情報の積極的な紹介、近隣の商業施設不足によるアルバイトの不足と競争激化、遠方でのアルバイトにおける交通費負担の問題等が指摘されています。

課外活動に伴う交通面の課題については、引き続き事業者へ要望してまいります。課外活動のスペースについては、イーストゾーンに課外活動施設等をさらに建設予定です。それまでの間はお迷惑をおかけします。

5. 伊都キャンパス周辺の地元まちづくりへの要望又は地域との連携等に関して

大学周辺の市街地の充実、特に生活利便施設・商業・娯楽施設の充実を希望しています。また、地元の人との積極的な交流を求める意見がみられ、交通に関する意見も多く、西鉄バスとの連携や大学までの直通電車や料金の割引などの要望がみられました。

要望のあった施設については、学内および周辺地区において設置、誘致に向けた検討を行っています。商業施設については、立地するかどうかは、基本的に事業者各々の判断に寄るところが大きく、採算性が重要視されることをご理解ください。地元住民、商業者との交流については、5年前から新キャンパス計画推進室と九州大学学術研究都市推進機構が事務局として、タウン・オン・キャンパスまちづくり推進会議を開催しており、交流を深めています。シンポジウムや勉強会なども協働で開催しています。活動の状況、開催予定等については、新キャンパス計画推進室のホームページをご覧ください。

6. その他

住居の建設よりも生活支援施設を先に建てるべきという意見、および、交通に関する改善要求として、西鉄バス・昭和バスの運行時間や本数、料金改善に関するものも多く見られました。

これまでの地元の誘致努力が実って、大学周辺には、2012年度にコンビニが立地予定です。スーパーについても引き続き、建設に向け協議が進められています。

また、公共交通の本数や料金については、大学から改善を要望していますが、事業者の判断により行われるため、交渉から実現まで時間がかかっています。2012 年 4 月には、昭和バス路線（九大学研都市駅～九大伊都キャンパス）が、前年同時期に比べ往復 26 便増便しており、駅前での乗車がスムーズに行くような改善を行っています。引き続き、改善を要望していく予定です。